

照会先：

三四会副会長・女性支援室長 菅沼安嬉子

F A X : 03-3358-0664 (三四会事務局)

E-Mail: [info@sanshikai.jp](mailto:info@sanshikai.jp)

## 女性医師支援アンケート一次集計結果

と

今後の取り組みの方向性（案）

～ 意見招請 ～



KEIO 150  
Design the Future

平成18年7月

三四会女性支援室

## アンケートの一次集計のまとめ

### 1 趣旨・目的

三四会では、増加しつつある女性会員の活動を支援するために同窓会として何が行えるのを見極め、より働きやすい環境を整備すること等により各教室や関連病院、ひいては慶應医学の発展にも資するため「女性支援室」を立ち上げた。有効な対策は、正しい現状の把握によらねばならないと考え、現在の女性医師の状況・問題点・ご提言をアンケートにより伺うこととした。

### 2 対象と回答状況

女性三四会員（全員）、並びに、同僚または雇用者・上司として日々接しておられる慶應義塾大学医学部教授（全員）、関連病院長（三四会員の院長等全員）、および無作為に選ばせていただいた男性三四会員の先生方（女性三四会員数と年齢構成に対応）を対象とした。対象者数に対する回答率は、女性三四会員 29.4% (269/915)、男性三四会員 24.4% (202/915)、医学部教授 45% (21/46)、関連病院長 46% (46/108) であった。

### 3 調査項目

女性医師、男性医師、慶應義塾大学医学部教授及び関連病院長（三四会員の院長等）向けにアンケート項目を定めた。（調査用紙は資料1として添付）

### 4 一次集計結果

定量的な調査項目の主要なものは集計して図示した。（主要図表は資料2として添付）

## 今後の取り組みの方向性

集計結果及び寄せられた意見を踏まえて、女性支援室で検討を始めた取り組みの方向性は概ね以下のとおりである。

女性医師は、卒後のプロフェッションとして集中的な研鑽を積む時期と結婚・出産・育児の時期とが重ならざるを得ないため、本人の努力に加えての配慮が必要である。

しかし、このような配慮は、男女の新しい格差や緊張をもたらすものであってはならず、全ての医師にとって働きやすい、また、専門職として常に成長し続けられる環境を整えるという観点を踏まえて実現されるべきものである。

アンケート結果を見る限り早急に取り組むべき課題を例示すると：

- ✓ 慶應義塾大学病院に於ける保育環境を質量ともに充実するための働きかけ（延長保育・病児保育を含む）
- ✓ ワークシェアリングを含む男女に優しい新しい勤務形態の開発研究（労働問題の専門家を含むキャリアパス研究会の設置）
- ✓ 先輩女性医師の話しを聞く会の開催（年1～2回程度）
- ✓ 私立医科大学協会などをとおして女医比率の高い大学の状況の調査検討
- ✓ 三四会の生涯研修事業に女性医師の再教育・復職教育的要素の組み入れ
- ✓ 女性医師の求人・求職の情報交流の場の設置・拡大

### 添付資料

資料1 調査用紙

資料2 主要図表

三四会女性支援アンケート

資料 1

以下の質問に丸、数字または文章でご回答ください。記載スペースが足りない場合は別紙を明記の上、追加してください。

（ 先生ご自身について ）

卒後年数 （ ）年

専門の科目 （ ）

所属の教室 （現在： ） 過去： （ ）

常勤医年数 （ ）年 パート医年数（ ）年

現在の雇用状況 （ ）常勤 （ ）非常勤 （ ）活動せず

配偶者 （ ）いる （ ）いない

（ 一般的質問事項 ）

1) 現在の主たる職場はどこですか。

（ ）大学病院 （ ）出張病院 （ ）研究所

（ ）診療所 （ ）開業 （ ）留学 （ ）その他（ ）

2) 仕事時間は週何時間くらいですか。

（ ）8時間以下 （ ）9時間～16時間 （ ）17時間～24時間

（ ）25時間～32時間 （ ）33時間～40時間 （ ）40時間以上

（ ）60時間以上

3) 現在の職場に満足していますか。

（ ）はい

（ ）どちらとも言えない

（ ）いいえ

満足しない理由：

4) 職場での男女医師の比率はどのくらいですか。 男:女 （ ）:( )

（ 女性医師の置かれた環境 ）

5) 女性医師に対して周囲が理解してくれていると感じていますか。

( ) はい

( ) いいえ

そう感じる理由：

6) 女性の処遇で差別を感じたことがありますか。

( ) ない

( ) ある

具体的な例：

7) 働く上で生じる女性同士の問題で困ったことがありましたか。

( ) ない

( ) ある

具体的な例：

8) 医師にとってジェンダーによる有利不利があると思うことはありますか。

( ) ない

( ) ある

具体的な例：

9) 一般的に言って男性医師・女性医師どちらが有利と思いますか。

( ) 男性

( ) 女性

( ) 一概には言えない

（ 問題総論 ）

10) 医師のキャリアを積む上で、支援が欲しいと思ったことは何ですか。是非欲しかった項目には ，あれば便利は ，特に希望しないに を付けてください。

- 就労支援     子育て支援     子育て後の復帰支援  
 勤務労働条件の改善     職場環境の改善     家事支援  
 留学支援     その他（                    ）

11) 自分のキャリアを積む上で、現在の勤務病院、大学病院や教室の制度に不満がありますか。

- ない  
 ある

具体的に：

（ 子育て支援 ）

12) お子さんはいらっしゃいますか。

- いる    (    ) 人  
 いない    質問20まで飛んでください。

13) 子育ての主たる担い手はだれでしたか？

- 自分     配偶者     家族     その他

14) 育児を助けてくれている、またはくれた人はいましたか。（複数回答）

- 配偶者     実家の母     夫の母     父     兄弟姉妹  
 友人     知人     ベビーシッター     保育園

15) 産前産後に休暇をとりましたか。

- いいえ

はい 具体的には：

- 数日程度     1ヶ月     2ヶ月     3ヶ月  
 6ヶ月     6ヶ月以上

16) 育児休暇を取りましたか。

- とっていない       2ヶ月       3ヶ月  
 6ヶ月               1年               2年以上

17) 保育所を利用しましたか。

- はい  
 いいえ

18) 勤務の病院に保育所があったら子育ての時期に利用したいと思いませんか。

- はい  
 いいえ

理由は何ですか：

19) 女性支援室は子育て中のパート先などの斡旋を考えていますが、先生は登録してもよいと考えますか。

- したい      アンケートの最後の連絡策記入をお忘れ無く  
 したくない

理由は何ですか：

( 配偶者が医師またはその他の職業を持たれている方への質問 )

以下の問いは先生の配偶者が医師またはその他の職業を持たれている方のみお答えください。

20) 配偶者が医師である方へ

- 配偶者の職業を尊重している  
 配偶者が医師であることを後悔している

21) 家事、子育てを分担していますか。

- していない  
 家事のみ分担している  
 子育てのみ分担している  
 家事、子育て両方、分担している

22) 家事、子育ての分担は自分の医師としての仕事のマイナスになると思いますか。

- 思う
- 思わない

23) 配偶者が教授、または病院長になりたいと望んだ場合、応援なさいますか。

- する
- しない

理由は何ですか：

24) 配偶者が留学したいと望んだとき、どうなさいますか。

- 行かせない
- 1人で行かせる
- 自分の仕事を中断してついていく

( 提言 )

自由にお書きください。

25) 仕事と家庭を両立させる工夫を教えてください。

26) 女性医師を働きやすくさせる条件は何だと考えますか。



27) その条件整備に向けて医学部が取り組むべきと思われることは何ですか。

28) その条件整備に向けて三四会が取り組むべきと思われることは何ですか。

29) その他女性医師全般について、ご意見、ご要望、ご批判がございましたらお聞かせください。

どうもありがとうございました。 アンケートは匿名ですが、パート先の斡旋を希望される、あるいは、詳しくお話を聞かせていただける場合は、以下に連絡先等をお書きください。

氏名：

所属：

電話：

e-mail：

### 三四会女性支援アンケート

以下の質問に丸、数字または文章でご回答ください。記載スペースが足りない場合は別紙と明記の上、追加してください。

（ 先生ご自身について ）

卒後年数 （ ）年

専門の科目 （ ）

所属の教室 （現在： ） 過去： （ ）

常勤医年数 （ ）年 パート医年数（ ）年

現在の雇用状況 （ ）常勤 （ ）非常勤 （ ）活動せず

配偶者 （ ）いる （ ）いない

（ 一般的質問事項 ）

1) 現在の主たる職場はどこですか。

（ ）大学病院 （ ）出張病院 （ ）研究所

（ ）診療所 （ ）開業 （ ）留学 （ ）その他（ ）

2) 仕事時間は週何時間くらいですか。

（ ）8時間以下 （ ）9時間～16時間 （ ）17時間～24時間

（ ）25時間～32時間 （ ）33時間～40時間 （ ）40時間以上

（ ）60時間以上

3) 現在の職場に満足していますか。

（ ）はい

（ ）どちらとも言えない

（ ）いいえ

満足しない理由：

4) 職場での男女医師の比率はどのくらいですか。 男:女（ ）:( )

（ 女性医師の置かれた環境 ）

5) 女性医師に対して周囲が理解していると感じていますか。

- ( ) はい  
( ) いいえ

そう感じる理由：

6) 女性の処遇で差別を感じたことがありますか。

- ( ) ない  
( ) ある

具体的な例：

7) 医師にとってジェンダーによる有利不利があると思うことはありますか。

- ( ) ない  
( ) ある

具体的な例：

8) 一般的に言って男性医師・女性医師どちらが有利と思いますか。

- ( ) 男性  
( ) 女性  
( ) 一概には言えない

（ 子育て支援 ）

9) お子さんはいらっしゃいますか。

- ( ) いる ( ) 人  
( ) いない 質問14まで飛んでください。

10) 子育ての主たる担い手はだれでしたか？

- ( ) 自分 ( ) 配偶者 ( ) 家族 ( ) その他

11) 育児を助けてくれている、またはくれた人はいましたか。(複数回答可)

- ( ) 配偶者 ( ) 実家の母 ( ) 妻の母 ( ) 父 ( ) 兄弟姉妹  
( ) 友人 ( ) 知人 ( ) ベビーシッター ( ) 保育園

- 12) 配偶者の産前産後に特別な休暇をとりましたか。
- ( ) いいえ
- ( ) はい 具体的には：
- ( ) 数日程度 ( ) 1ヶ月 ( ) 2ヶ月 ( ) 3ヶ月
- ( ) 6ヶ月 ( ) 6ヶ月以上
- 13) ご自身で育児休暇を取りましたか。
- ( ) とっていない ( ) 2ヶ月 ( ) 3ヶ月
- ( ) 6ヶ月 ( ) 1年 ( ) 2年以上
- 14) 女性医師は特に、妊娠、出産、子育て中に、休業または仕事内容の変更、仕事時間の短縮を迫られることがあります、それについてどうお考えですか。
- ( ) 男性同様仕事優先にするべき
- ( ) 子育て中は家庭優先にするほうがよい
- 15) 子育て中の女性医師の当直について。
- ( ) 免除してやりたい
- ( ) 同僚医師に迷惑がかかるから良くない
- ( ) 出産後半年までならよい
- ( ) 出産後1年までならよい
- ( 配偶者が医師またはその他の職業を持たれている方への質問 )
- 以下の問いは先生の配偶者が医師またはその他の職業を持たれている方のみお答えください。
- 16) 配偶者が医師である方へ
- ( ) 配偶者の職業を尊重している
- ( ) 配偶者が医師であることを後悔している
- 17) 家事、子育てを分担していますか。
- ( ) していない
- ( ) 家事のみ分担している
- ( ) 子育てのみ分担している
- ( ) 家事、子育て両方、分担している

18) 家事、子育ての分担は自分の医師としての仕事のマイナスになると思いますか。

思う

思わない

19) 配偶者が教授、または病院長になりたいと望んだ場合、応援なさいますか。

する

しない

理由：

20) 配偶者が留学したいと望んだとき、どうなさいますか。

行かせない

1人で行かせる

自分の仕事を中断してついていく

( 提言 )

自由に提言をお書きください。

21) 仕事と家庭を両立させる工夫を教えてください。

22) 女性医師を働きやすくさせる条件は何だと考えますか。

23) その条件整備に向けて医学部が取り組むべきと思われることは何ですか。

24) その条件整備に向けて三四会が取り組むべきと思われることは何ですか。

25) その他女性医師全般について、ご意見、ご要望、ご批判がございましたらお聞かせください。

どうもありがとうございました。 アンケートは匿名ですが、詳しくお話を聞かせていただける場合は、以下に連絡先等をお書きください。

氏名：  
所属：  
電話：  
e-mail：

### 三四会女性支援アンケート

以下の質問に丸、数字または文章でご回答下さい。記載スペースが足りない場合は別紙と明記の上、追加して下さい。

（ 先生と教室について ）

教室の類型：（ ）臨床 （ ）基礎 （ ）社会医学  
（ ）その他

先生の卒後年数 （ ）年

先生の専門科目 （ ）

（ 一般的質問事項 ）

1）先生の教室での医師の男女比はどのくらいですか。

男性：女性 （ ）：（ ）

2）一般的に女性医師の働きぶりに満足しておられますか。

（ ）満足している

（ ）満足していない

具体的に：

3）女性医師へ特別な配慮をしていますか

採用面

（ ）特にしていない

（ ）している

具体的に：

勤務条件面

（ ）特にしていない

（ ）している

具体的に：

昇進面

- 特にしていない  
 している  
具体的に：

研究指導面

- 特にしていない  
 している  
具体的に：

4) 女性医師の処遇で、過去に困ったことがありましたか。

- ない  
 ある

具体的に：

5) 女性医師の退職、または休業理由は何ですか。

- 妊娠     出産     病気     夫の転勤  
 親の介護     その他 (                      )

( 女性医師への対応 )

6) 女性医師は特に、妊娠、出産、子育て中に休業または仕事内容の変更、仕事時間の短縮を迫られることがあります。それについてどうお考えですか。

- 男性同様仕事を優先すべき  
 子育て中は家庭優先にしたほうがよい

7) 産前産後の休暇についてどのくらいが適切とお考えですか。

- 数日程度     1ヶ月     2ヶ月     3ヶ月  
 6ヶ月     6ヶ月以上



8) 育児休暇についてどのくらいが適当とお考えですか。

- 2ヶ月     3ヶ月     6ヶ月     1年  
 幼稚園入園まで     小学校入学まで

9) 女性医師が1年以上休業した後復帰を望んだら、希望をお認めになりますか。

- 認める  
 認めない  
理由：

10) 女性医師の当直を子育て中は免除してもよいとお考えですか。(臨床系)

- 免除してやりたい  
 同僚医師に迷惑がかかるから良くない  
 出産後半年までならよい  
 出産後1年までならよい  
 免除しない  
理由：

( 女性医師支援 )

11) 女性医師を確保する上で、必要と思われる支援策はなんであると思われますか。是非必要と思う項目には，あれば便利は，特に必要としないにを付けて下さい。

- 就労支援     子育て支援     子育て後の復帰支援  
 勤務労働条件の改善     職場環境の改善     家事支援  
 留学支援     その他(                          )

12) 将来、働く女性医師のために、慶應病院に保育所があってもよいと思われ  
れますか。（現在ある保育園は看護師対象です）

あったほうがよい

必要ない

理由：

13) 女性医師が将来教授になれるよう育て欲しいと思いますか。

積極的にそう思う

あくまでも本人次第

思わない

理由：

14) 子育て中はパートで働くことを望んでいる女性医師が多いようですが、  
三四会で斡旋を始めたら、利用したいと考えますか。

したい

必要ない

理由：

（提言）

自由に提言をお書き下さい。

15) 女性医師を働きやすくさせる条件は何だと考えますか。

16) その条件整備に向けて慶應大学医学部が取り組むべきと思われること  
は何ですか。

17) その条件整備に向けて三四会が取り組むべきと思われることは何ですか。

18) 女性医師に希望することがあったらお書きください。

19) その他女性医師全般について、ご意見、ご要望、ご批判などございましたらお聞かせください。

どうもありがとうございました。 アンケートは匿名ですが、詳しくお話を聞かせていただける場合は、以下に連絡先等をお書きください。

氏名：  
教室名：  
電話：  
e-mail：

### 三四会女性支援アンケート

以下の質問に丸、数字または文章でご回答ください。記載スペースが足りない場合は別紙と明記の上、追加してください。

（ 先生と施設について ）

施設の類型：（ ）大学 （ ） 国立病院 （ ）自治体病院  
（ ）公的病院（ ）私的病院 （ ）その他

先生の卒後年数 （ ）年

先生の専門科目 （ ）

（ 一般的質問事項 ）

1）先生の施設での医師の男女比はどのくらいですか。

男性：女性 （ ）：（ ）

2）一般的に女性医師の働きぶりに満足しておられますか。

（ ）満足している

（ ）満足していない

具体的に：

3）女性医師へ特別な配慮をしていますか

採用面

（ ）特にしていない

（ ）している

具体的に：

勤務条件面

（ ）特にしていない

（ ）している

具体的に：

昇進面

特にしていない

している

具体的に：

4) 女性医師の処遇で、過去に困ったことがありましたか。

ない

ある

具体的に：

5) 女性医師の退職、または休業理由は何ですか。

妊娠  出産  病気  夫の転勤

親の介護  その他 ( )

( 女性医師への対応 )

6) 女性医師は特に、妊娠、出産、子育て中に休業または仕事内容の変更、仕事時間の短縮を迫られることがあります。それについてどうお考えですか。

男性同様仕事を優先すべき

子育て中は家庭優先にしたほうがよい

7) 産前産後の休暇についてどのくらいが適当とお考えですか。

数日程度  1ヶ月  2ヶ月  3ヶ月

6ヶ月  6ヶ月以上

8) 出産、育児休暇についてどのくらいが適当とお考えですか。

2ヶ月  3ヶ月  6ヶ月  1年

幼稚園入園まで  小学校入学まで

9) 女性医師が1年以上休業した後復帰を望んだら、希望をお認めになりますか。

- 認める  
 認めない  
 理由：

10) 女性医師の当直を子育て中は免除してもよいとお考えですか。

- 免除してやりたい  
 同僚医師に迷惑がかかるから良くない  
 出産後半年までならよい  
 出産後1年までならよい  
 免除しない  
 理由：

( 女性医師支援 )

11) 女性医師を確保する上で、必要と思われる支援策はなんであると思われますか。是非必要と思う項目には，あれば便利は，特に必要としないにを付けてください。

- 就労支援       子育て支援       子育て後の復帰支援  
 勤務労働条件の改善       職場環境の改善       家事支援  
 留学支援       その他(                      )

12) 病院に医師が使える保育所はありますか。ない場合、今後設置の計画はありますか

- ある  
 ない  
 今後設置       設置の計画なし

13) 女性医師が将来院長になれるよう育て欲しいと思いますか。

- 積極的にそう思う  
 あくまでも本人次第  
 思わない

理由：：

14) 子育て中はパートで働くことを望んでいる女性医師が多いようですが、三四会で斡旋を始めたら、利用したいと考えますか。

- したい  
 必要ない

理由：

（提言）

自由に提言をお書きください。

15) 女性医師を働きやすくさせる条件は何だと考えますか。

16) その条件整備に向けて病院が取り組むべきと思われることは何ですか。

17) その条件整備に向けて医学部が取り組むべきと思われることは何ですか。

18) その条件整備に向けて三四会が取り組むべきと思われることは何ですか。

19) 女性医師に希望することがあったらお書きください。



20) その他女性医師全般について、ご意見、ご要望、ご批判などございましたらお聞かせください。

どうもありがとうございました。 詳しくお話を聞かせていただける場合は、以下に連絡先等をお書きください。

氏名：

施設名：

電話：

e-mail：

図1 回答者(男性220,女性266)の年齢構成(%)

資料 2

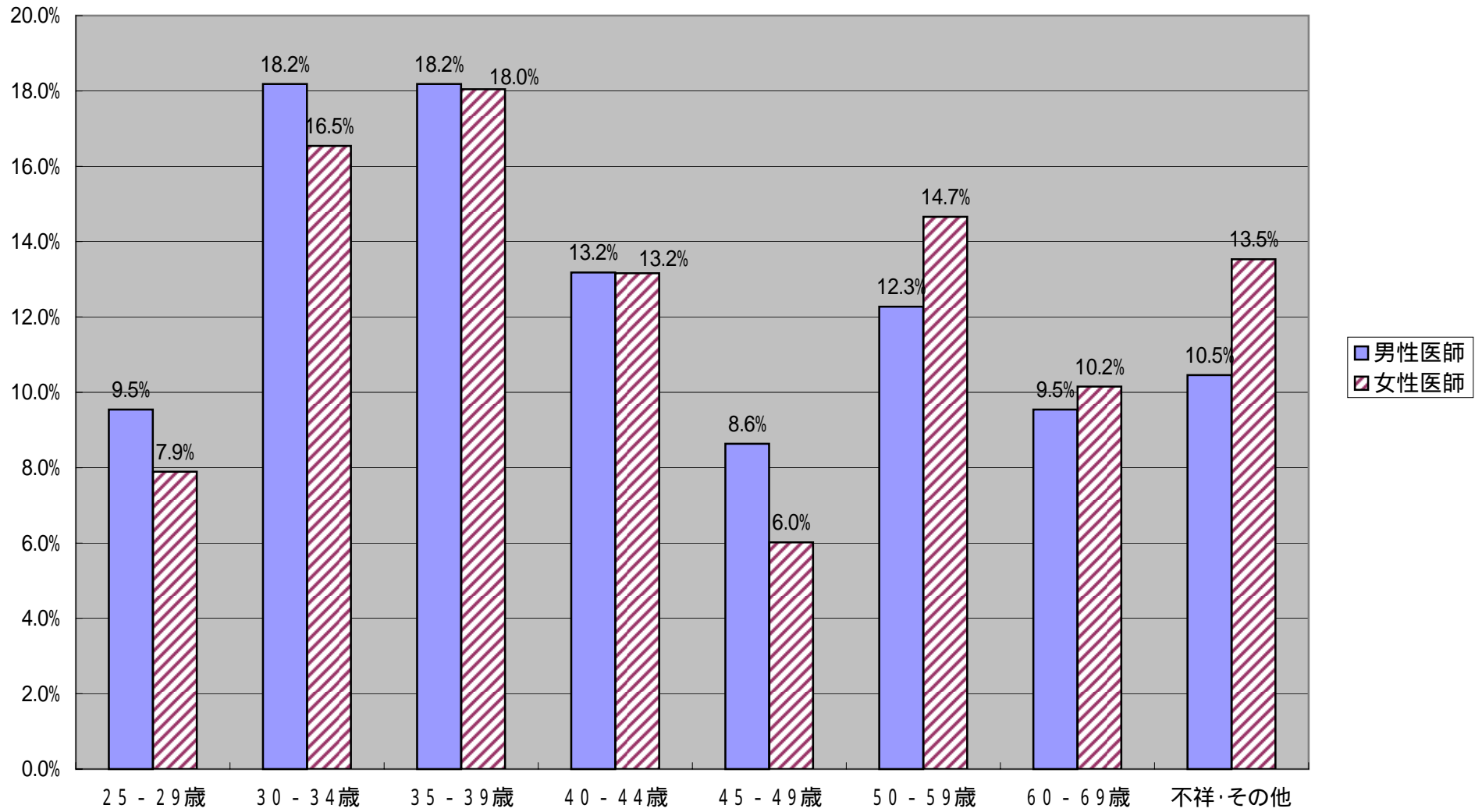


図2 雇用形態

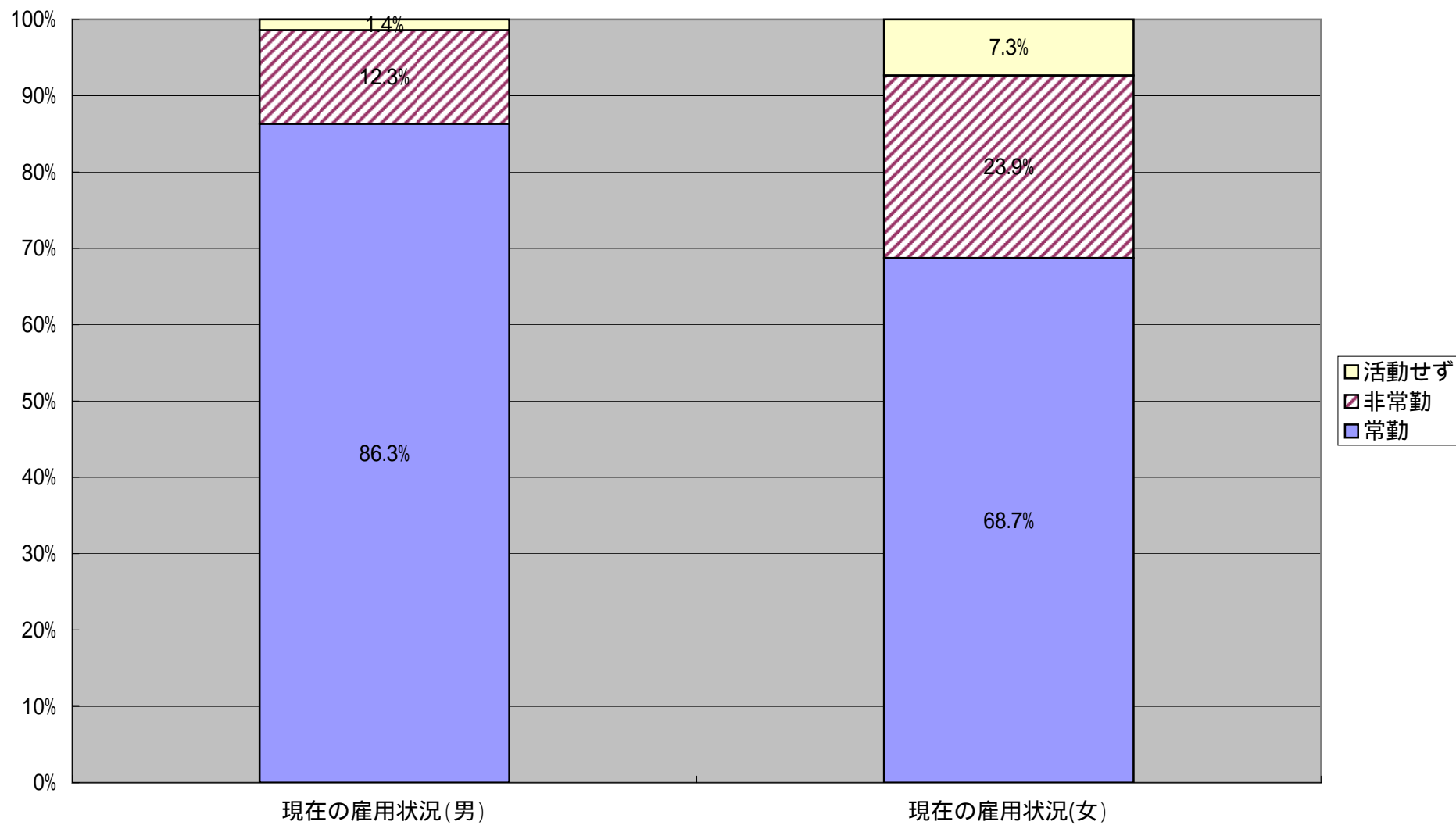


図3 婚姻の状況

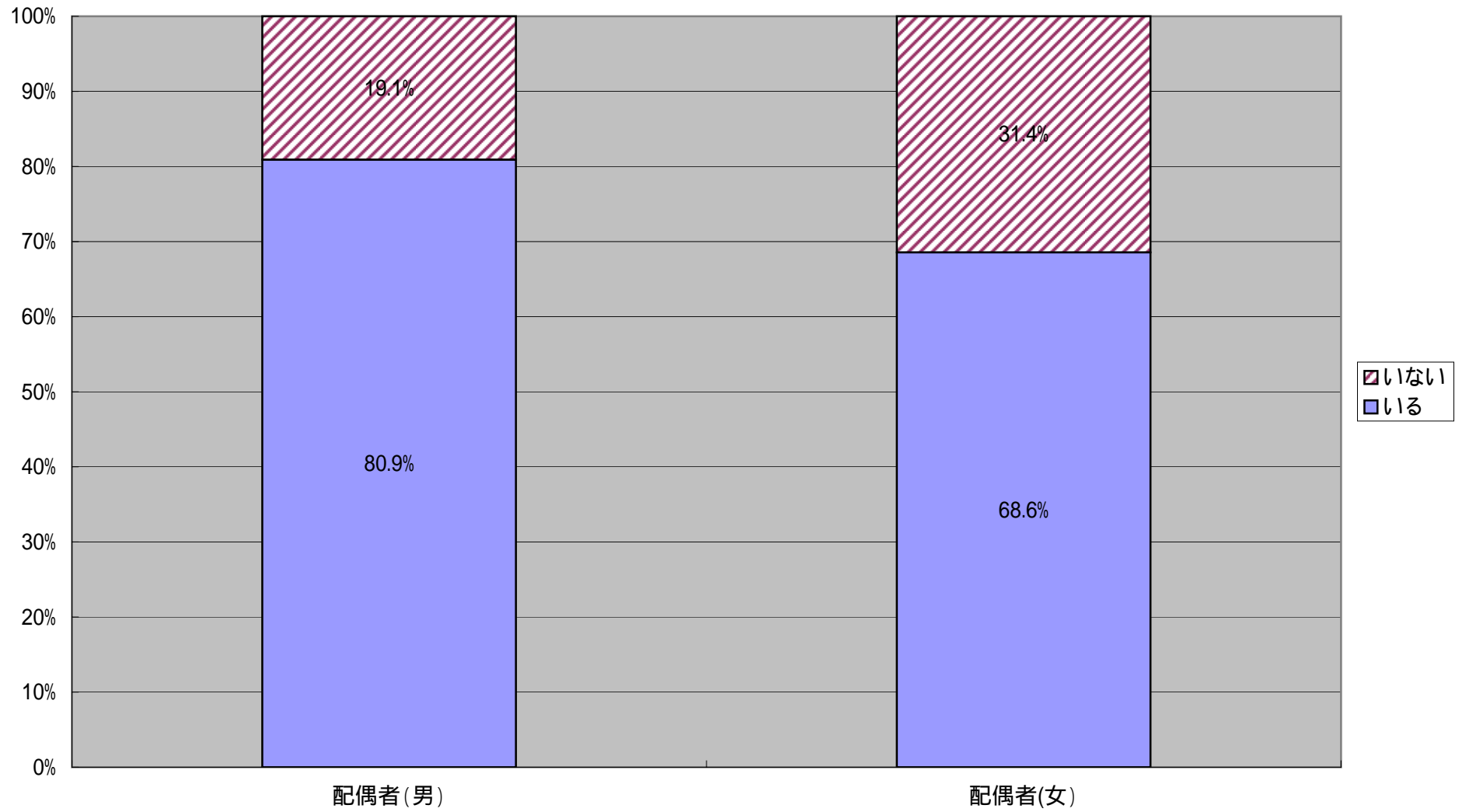


図4 主たる職場

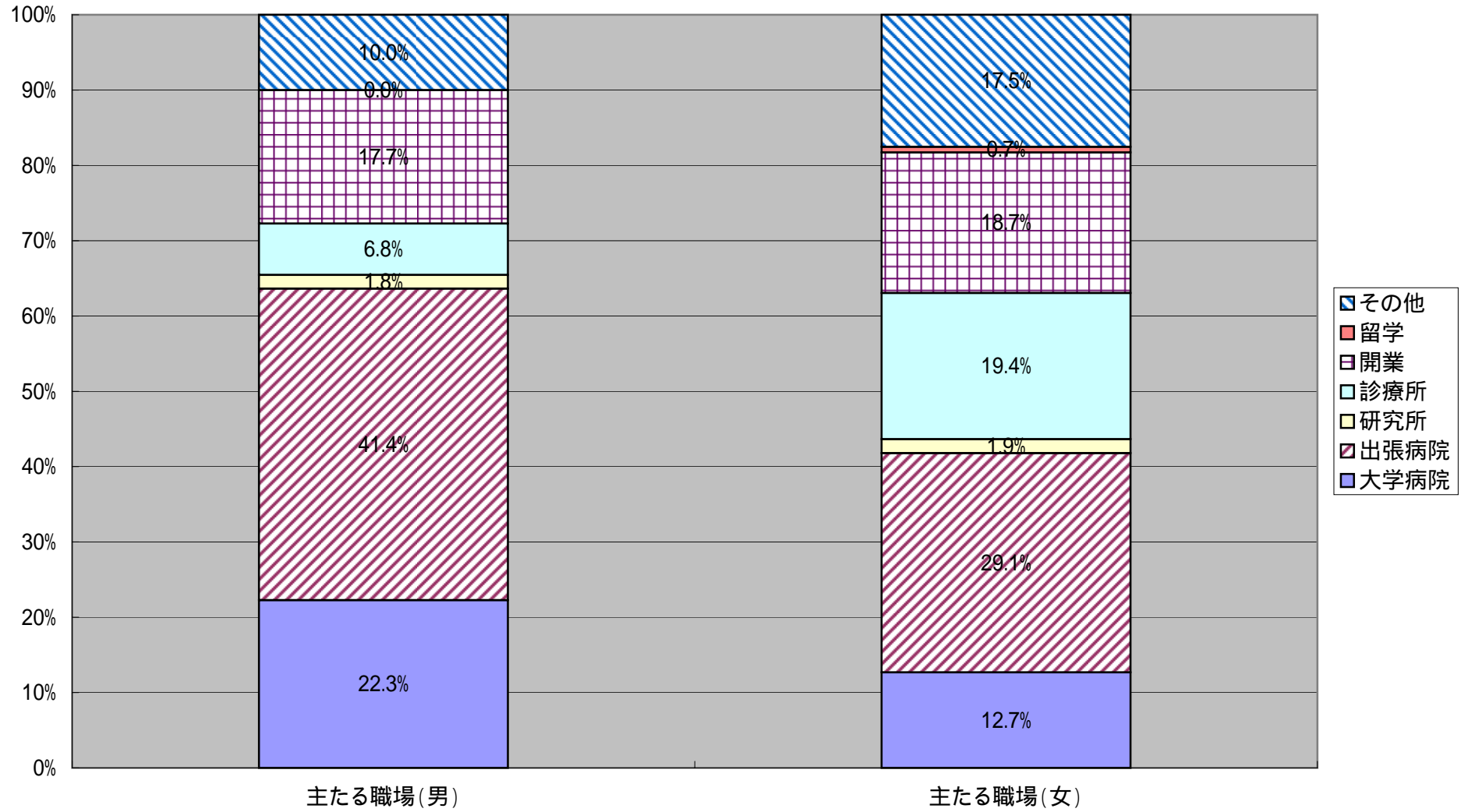


図5 就労時間別に見た男女医師の仕事時間分布

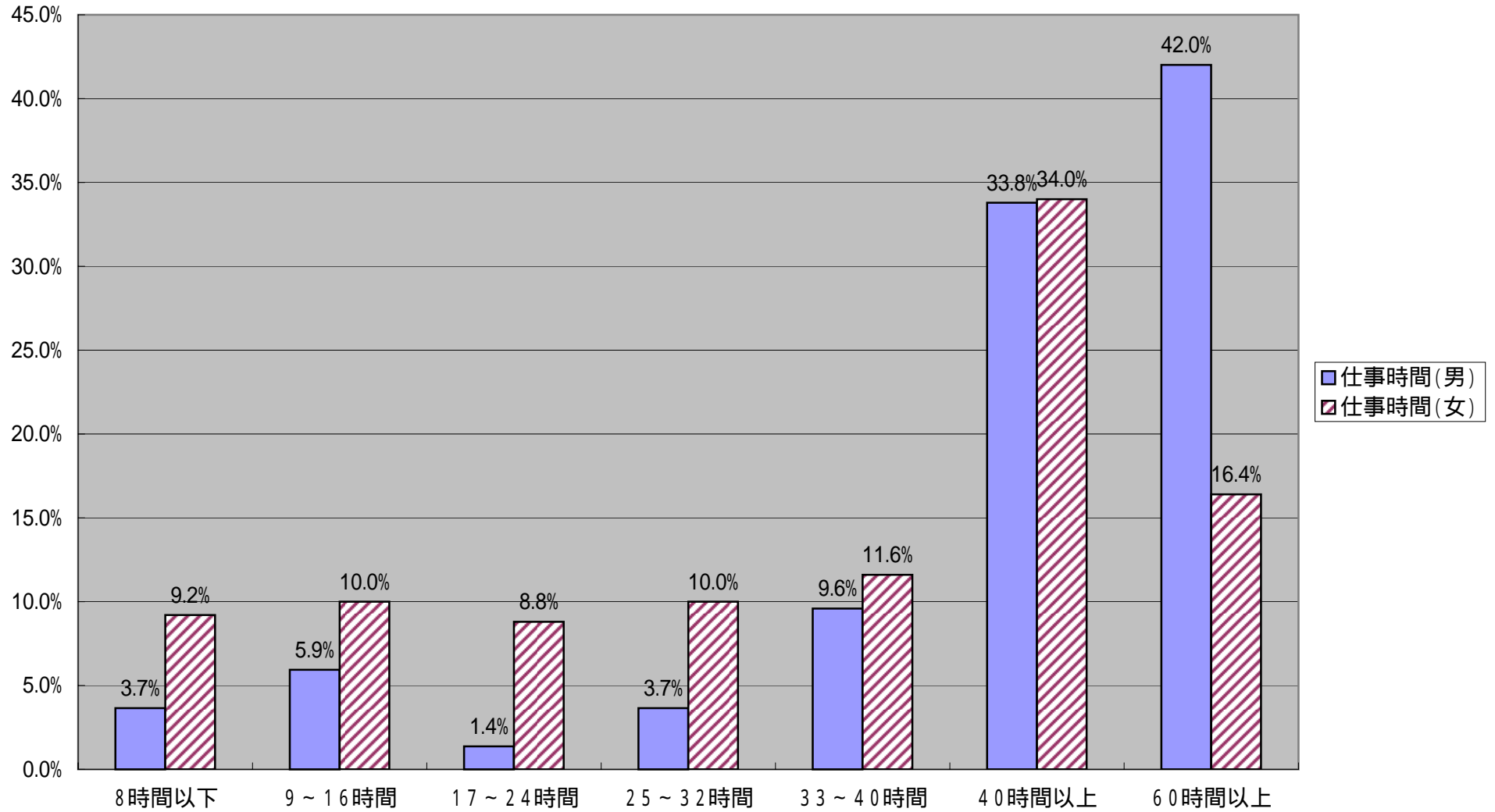


図6 仕事満足度

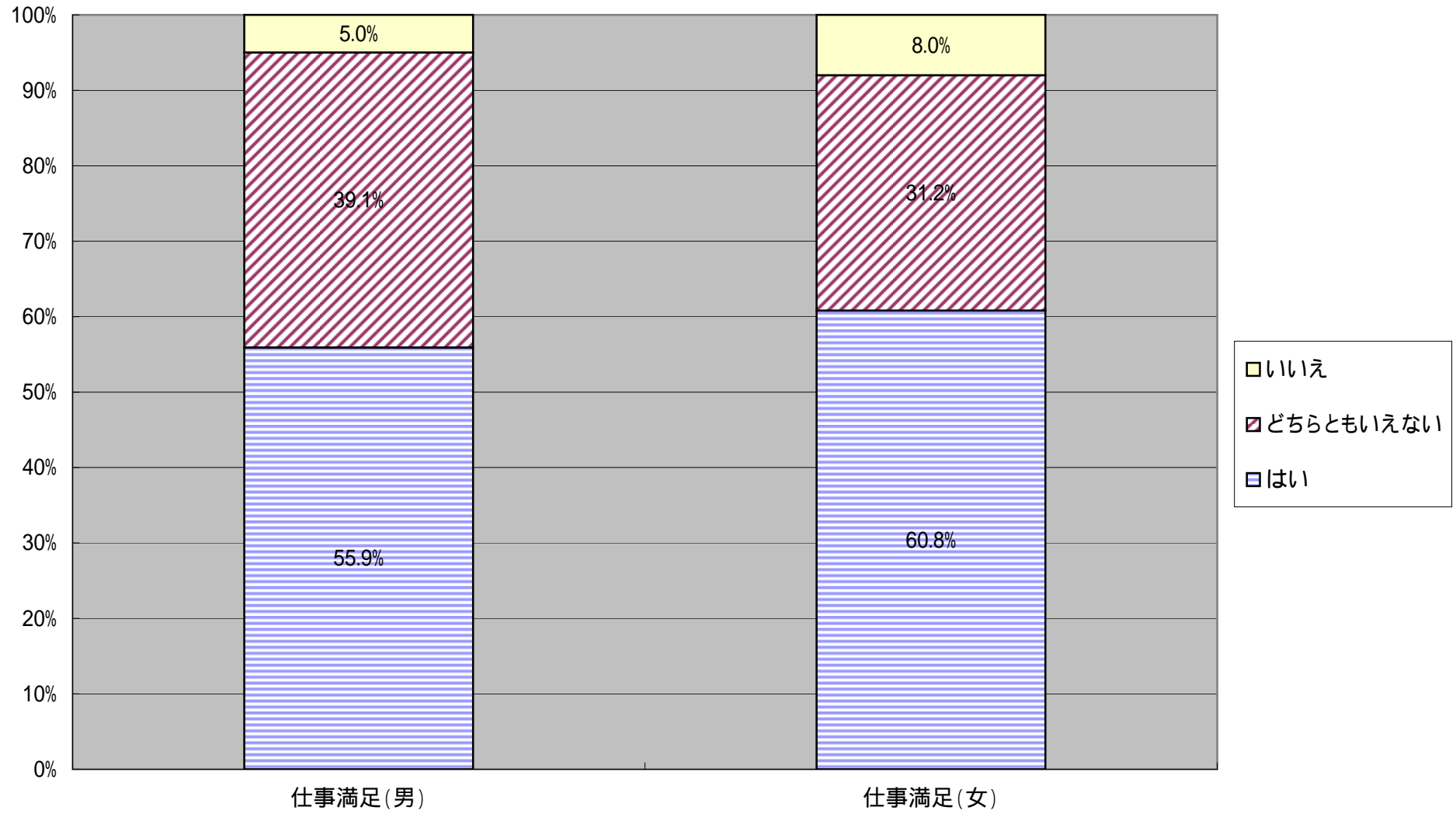


図7 女性医師への周囲の理解

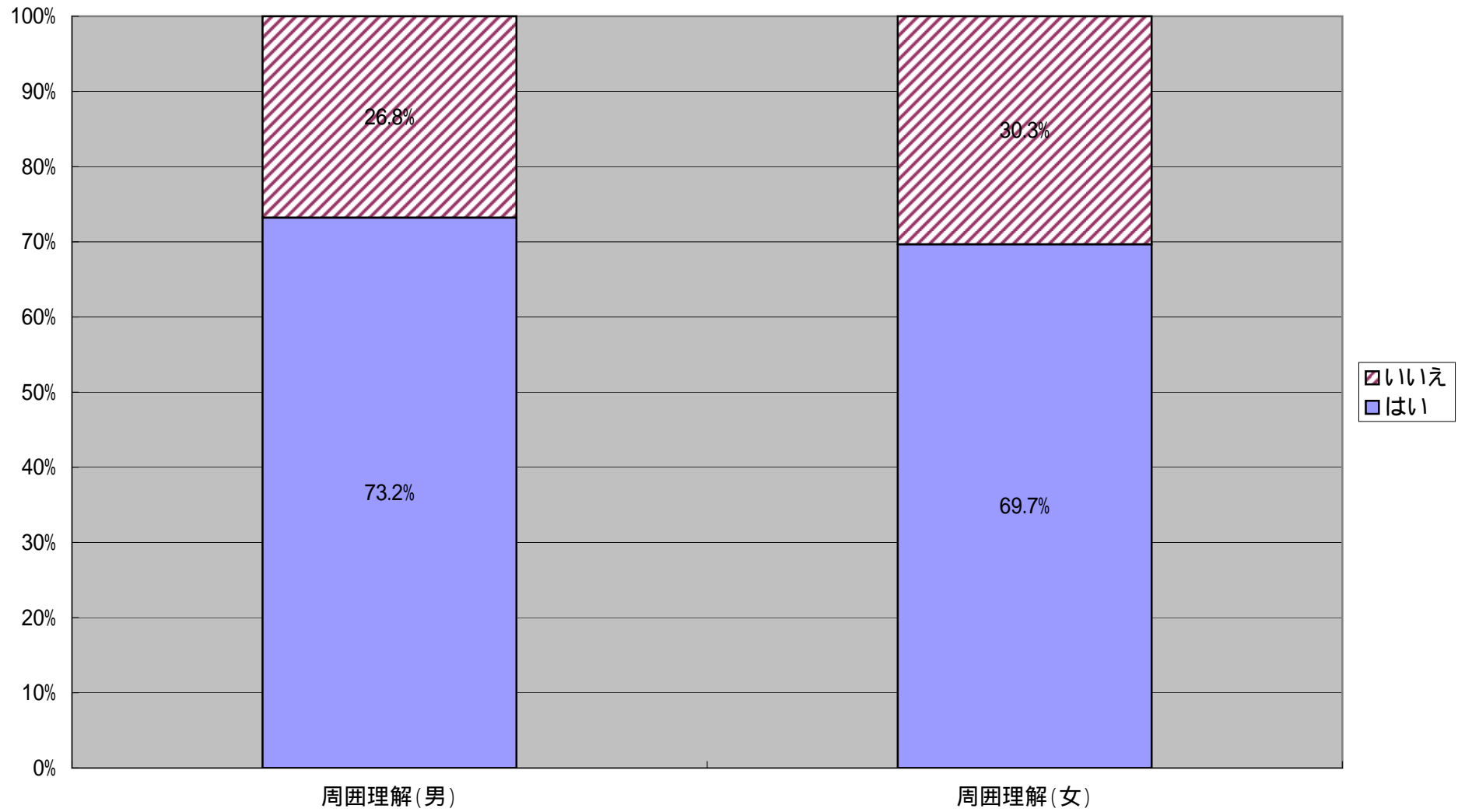




図8 女性処遇差別感の有無

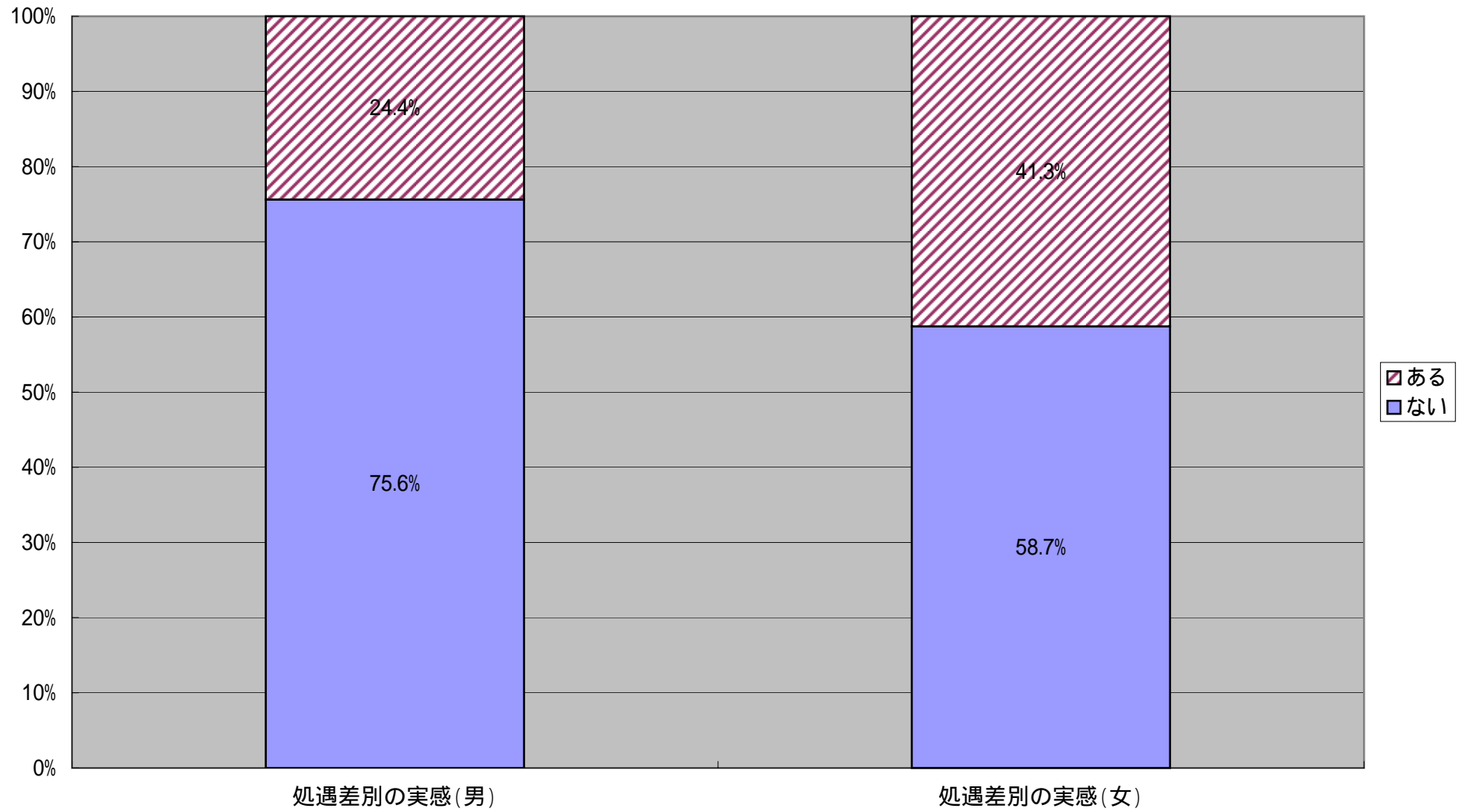


図9 ジェンダーによる有利不利感の有無

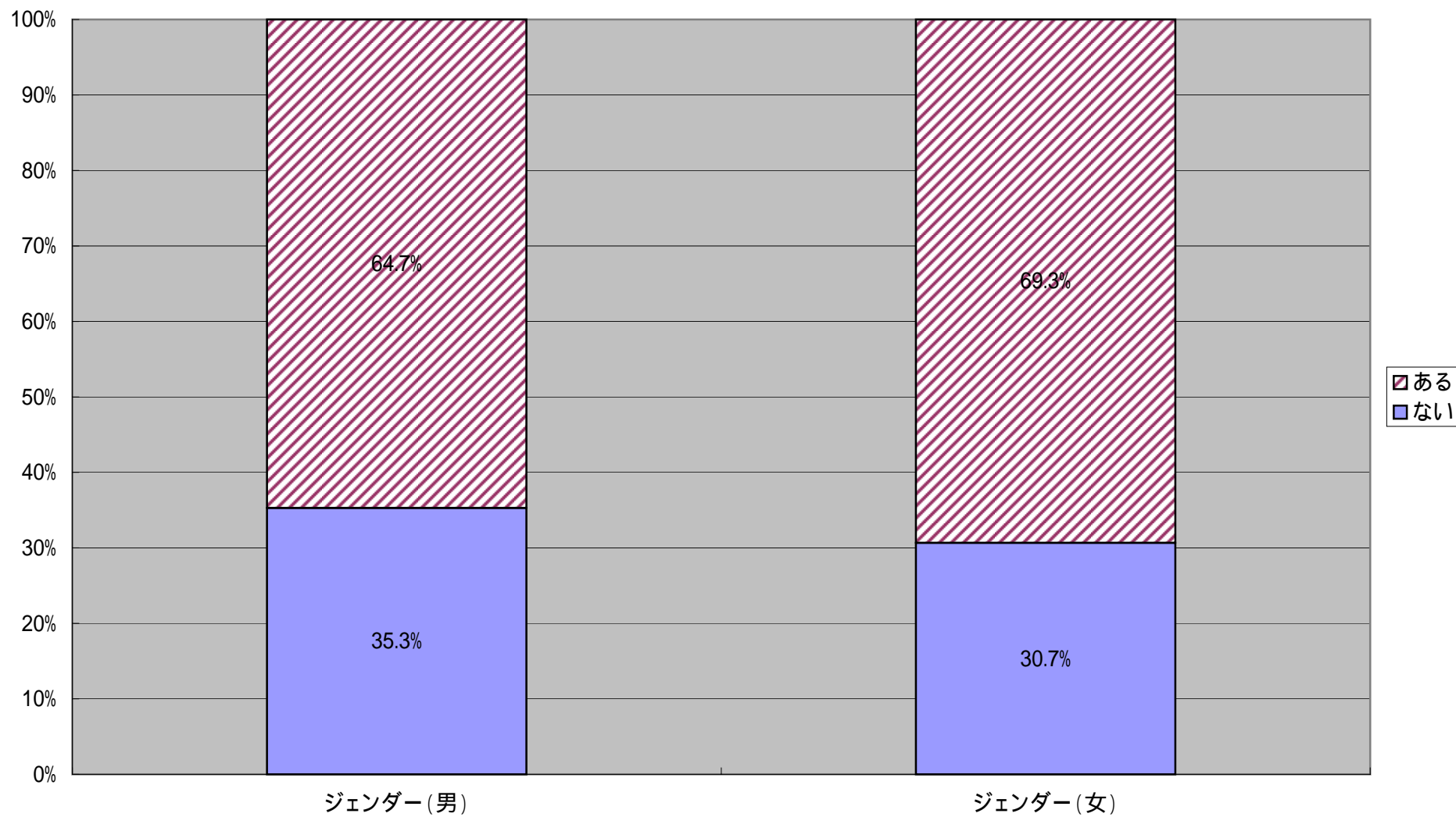


図10 男女どちらが有利か

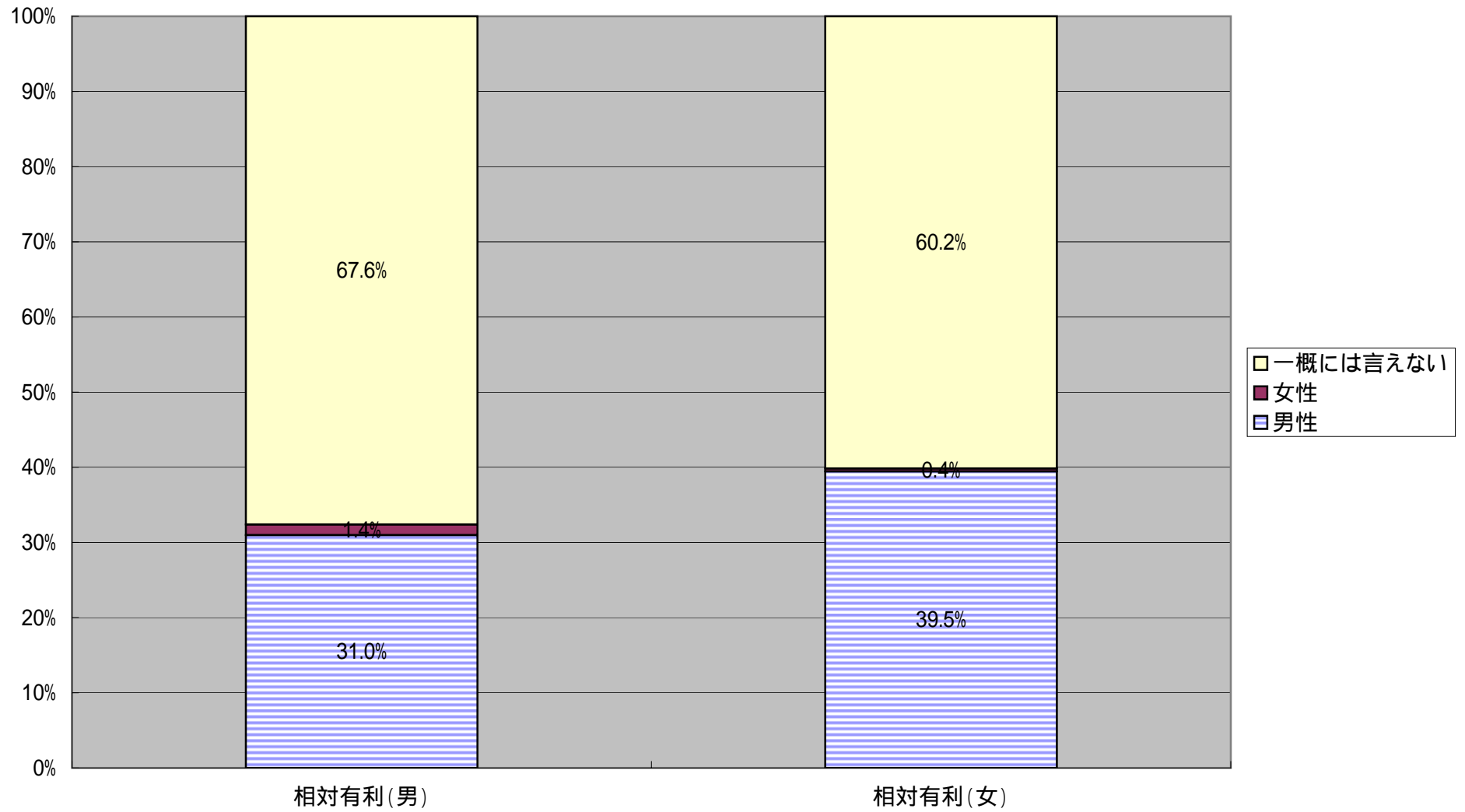


図11 子どもの有無

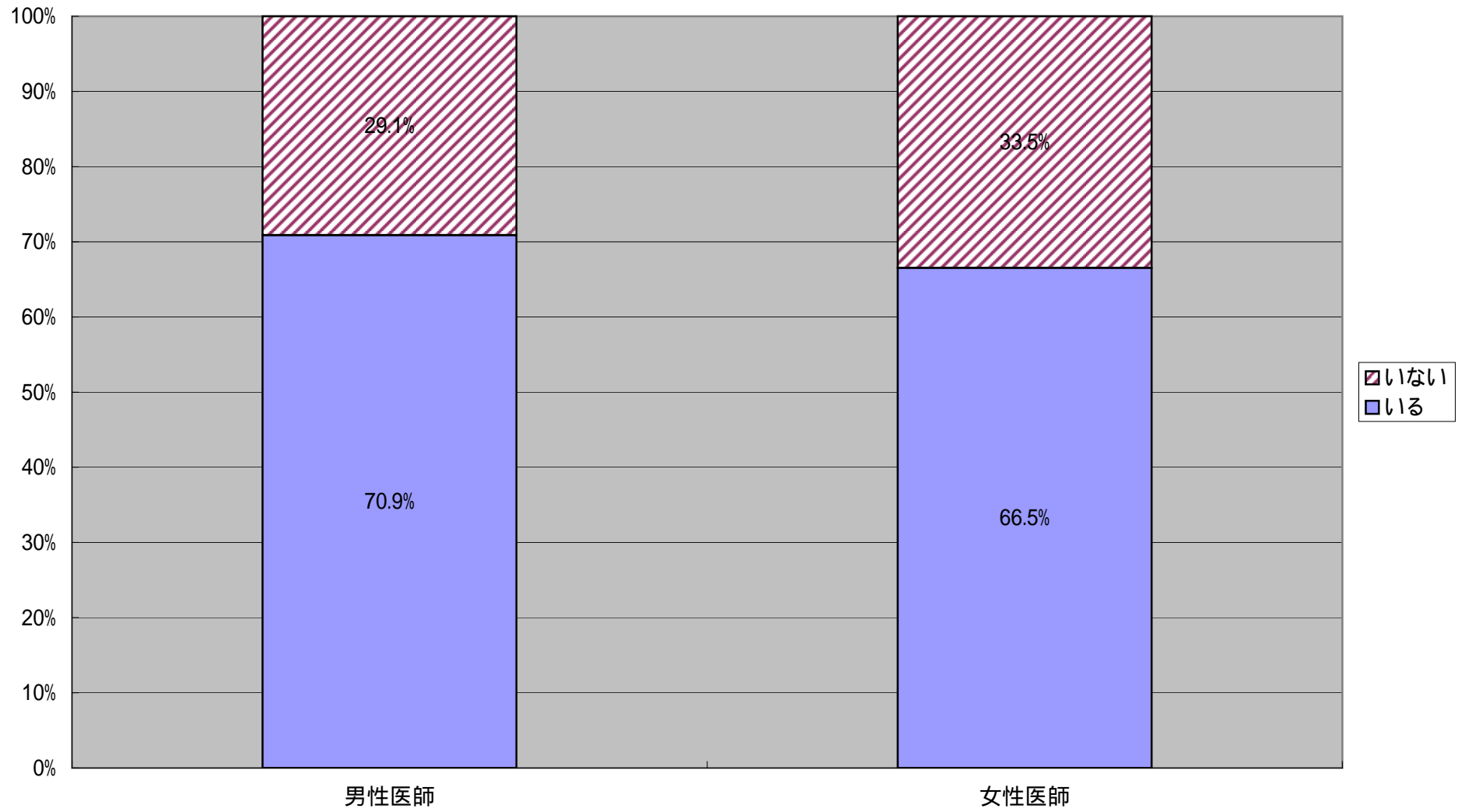


図12 子育ての担い手

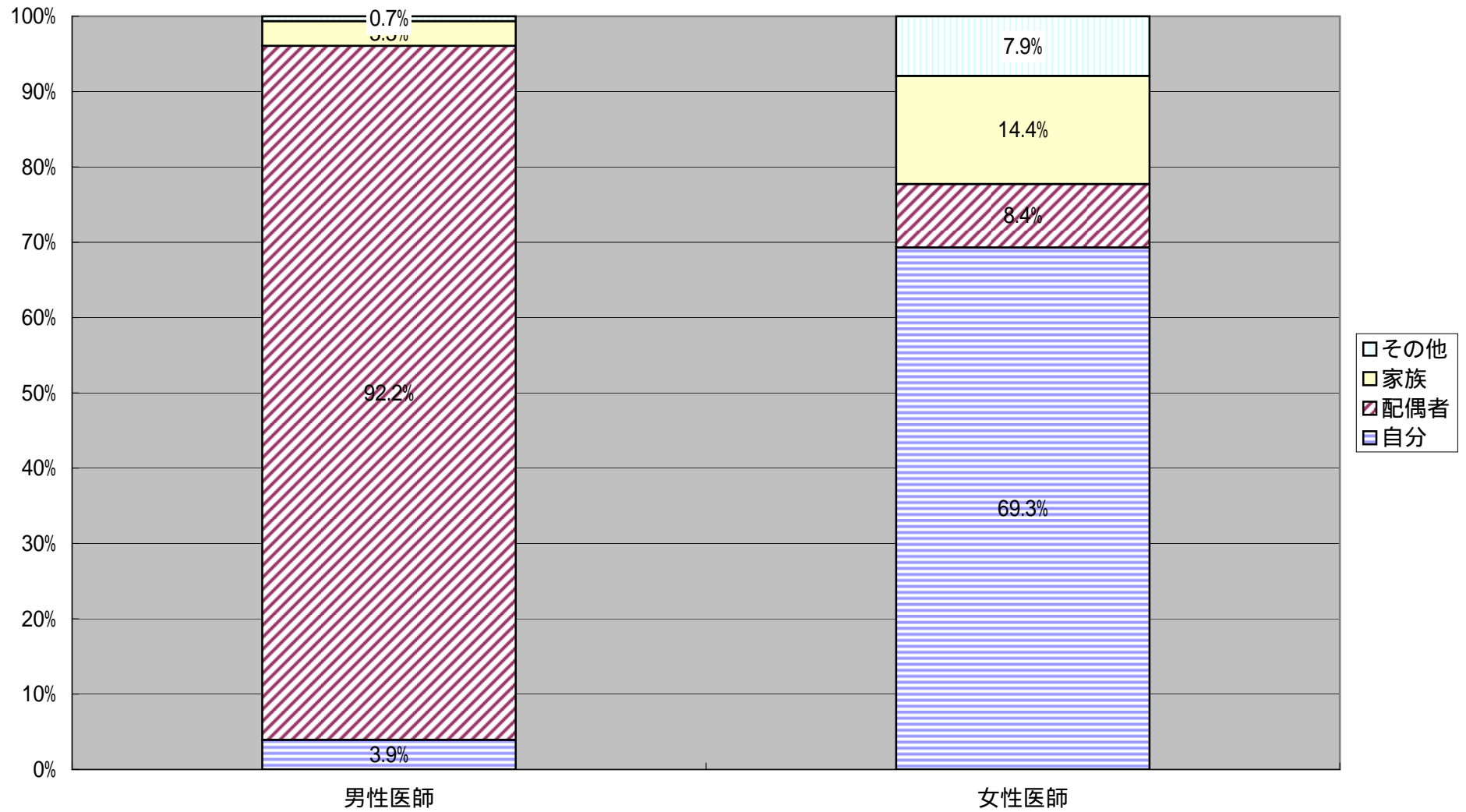


図13 育児支援の担い手

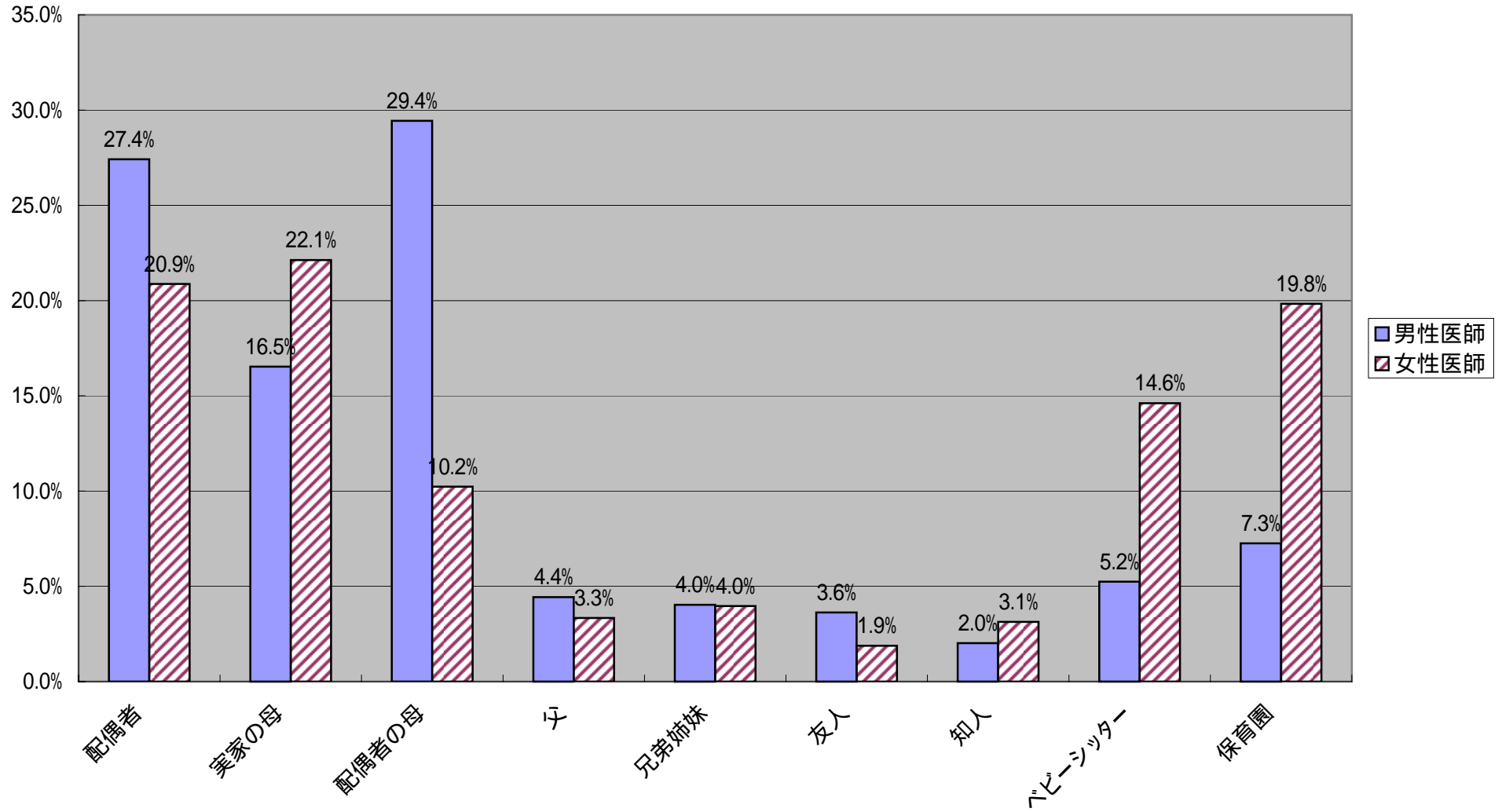


図14 産前産後休暇日数

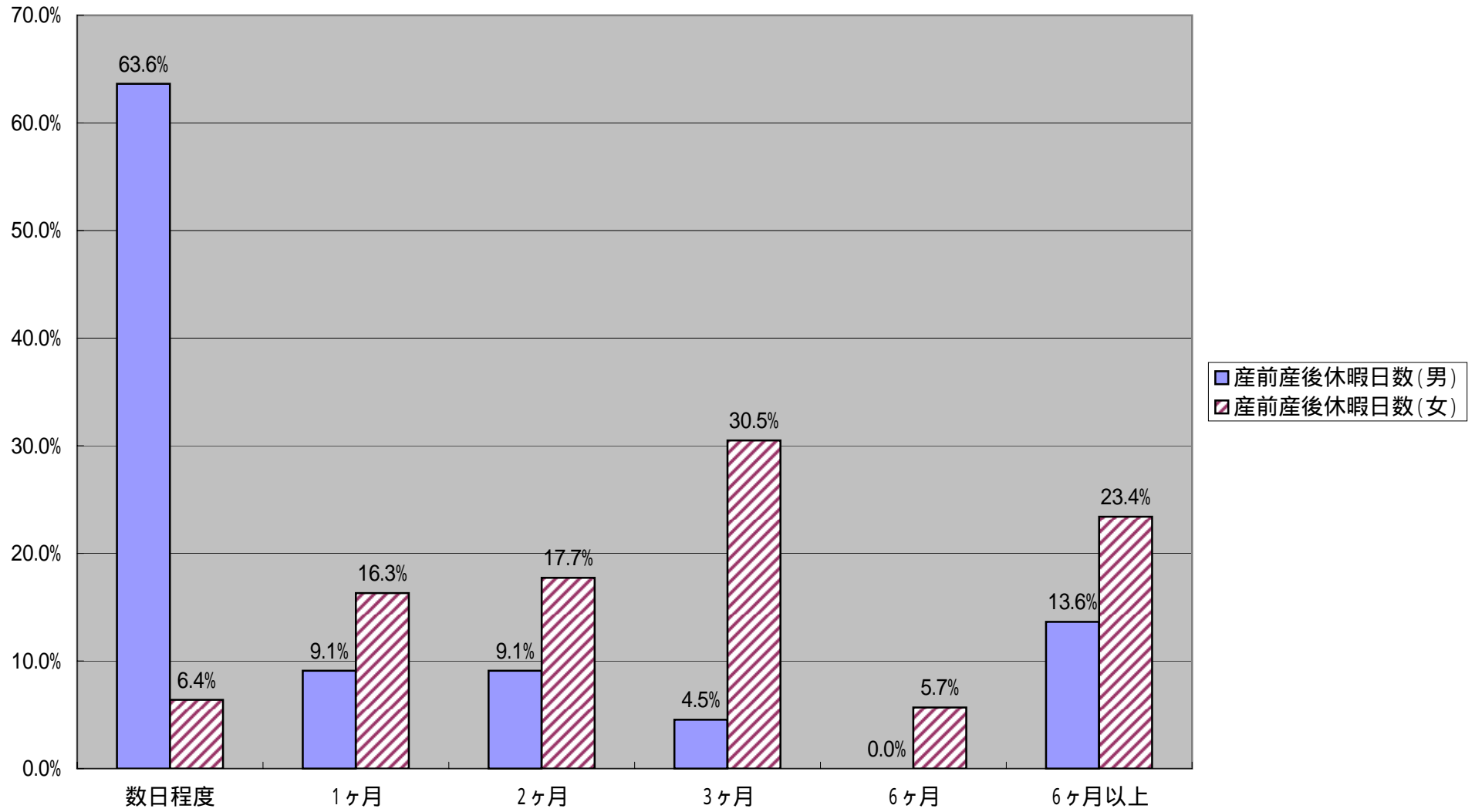


図15 育児休暇取得と期間

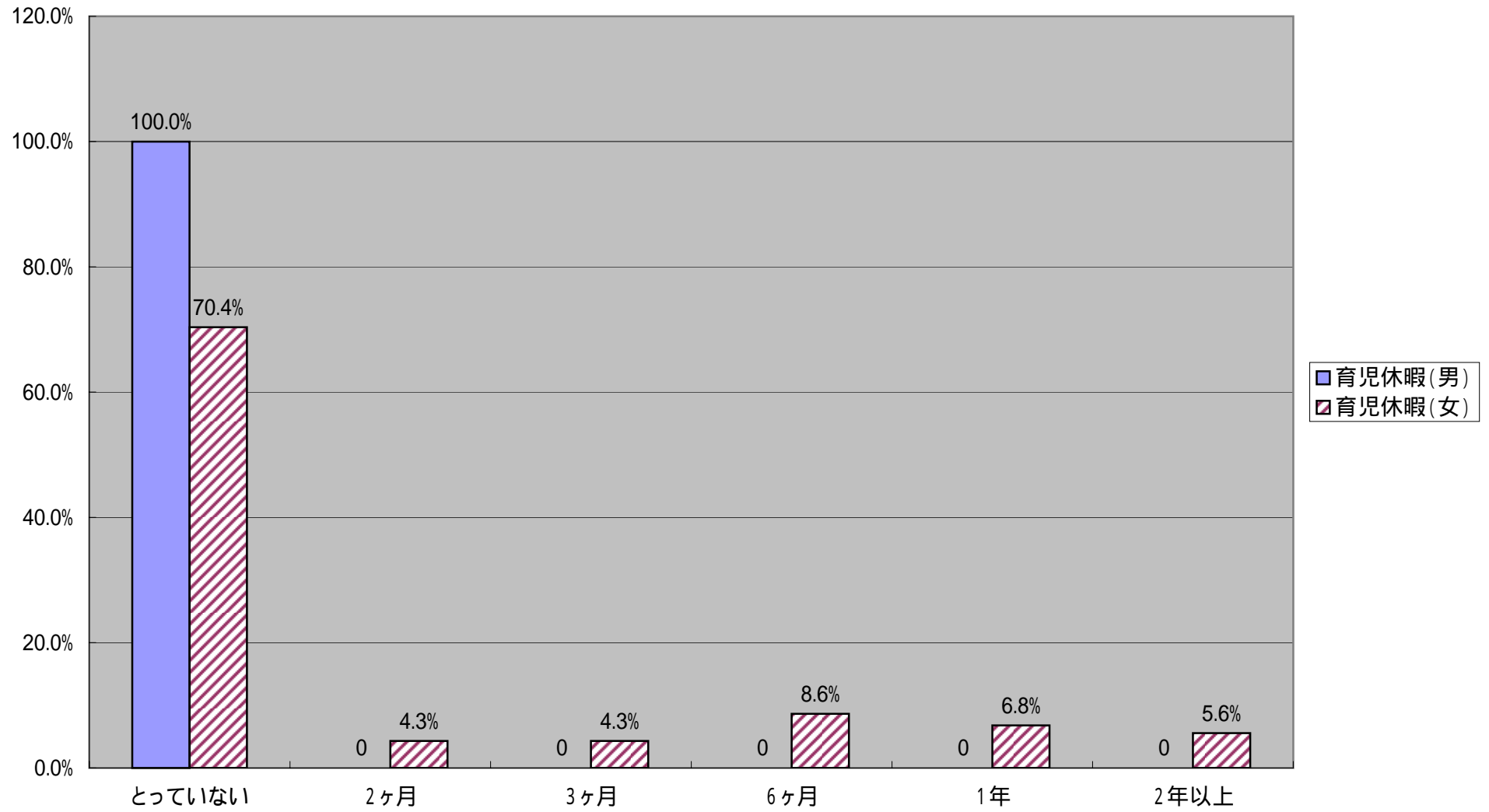




図16 配偶者が職業を持っている場合の家事・子育て分担状況

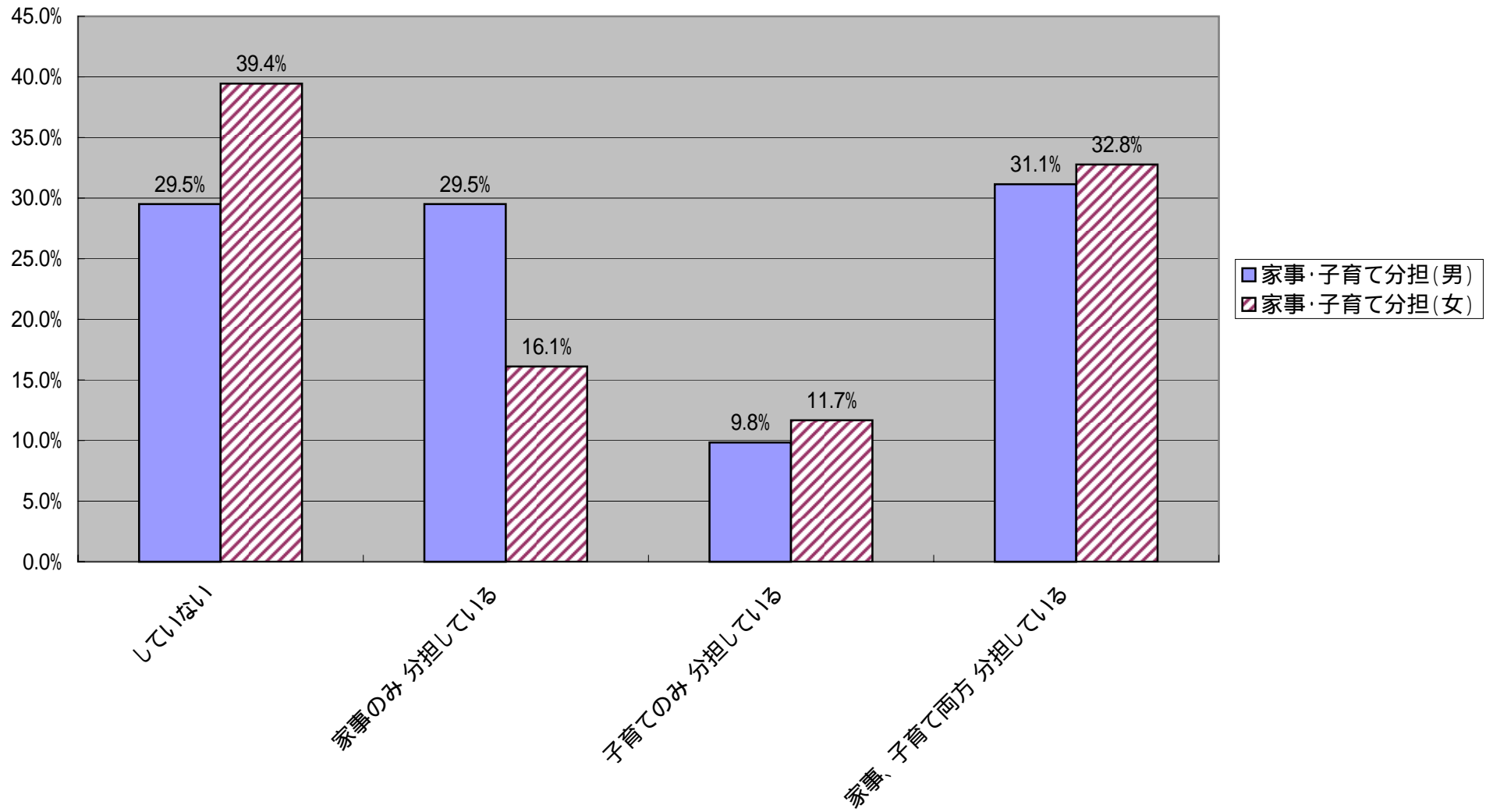


図17 配偶者が職業を持っている場合の家事子育ての医師キャリアへの影響認識

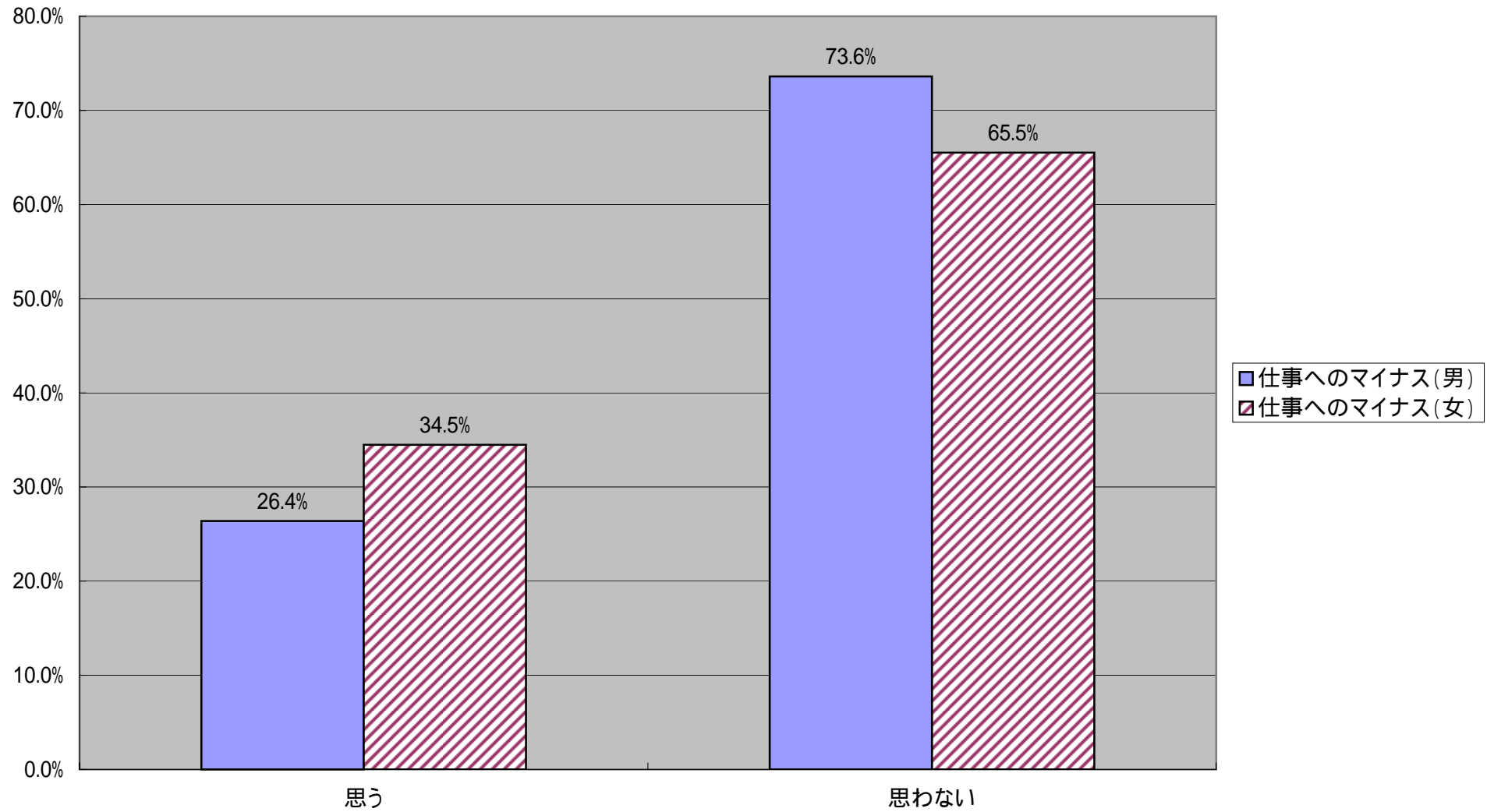


図18 昇進への応援

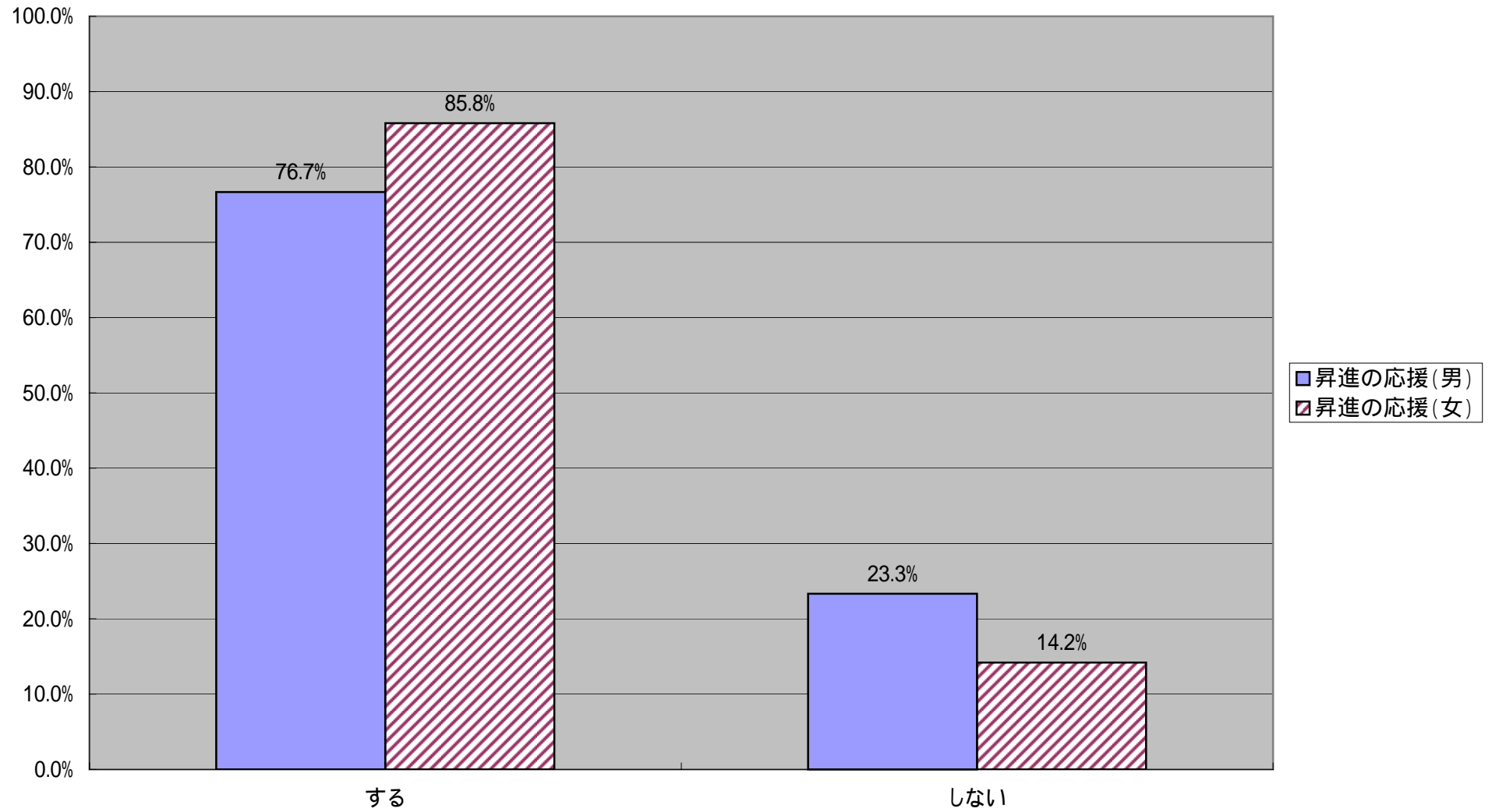


図19 留学時の対応

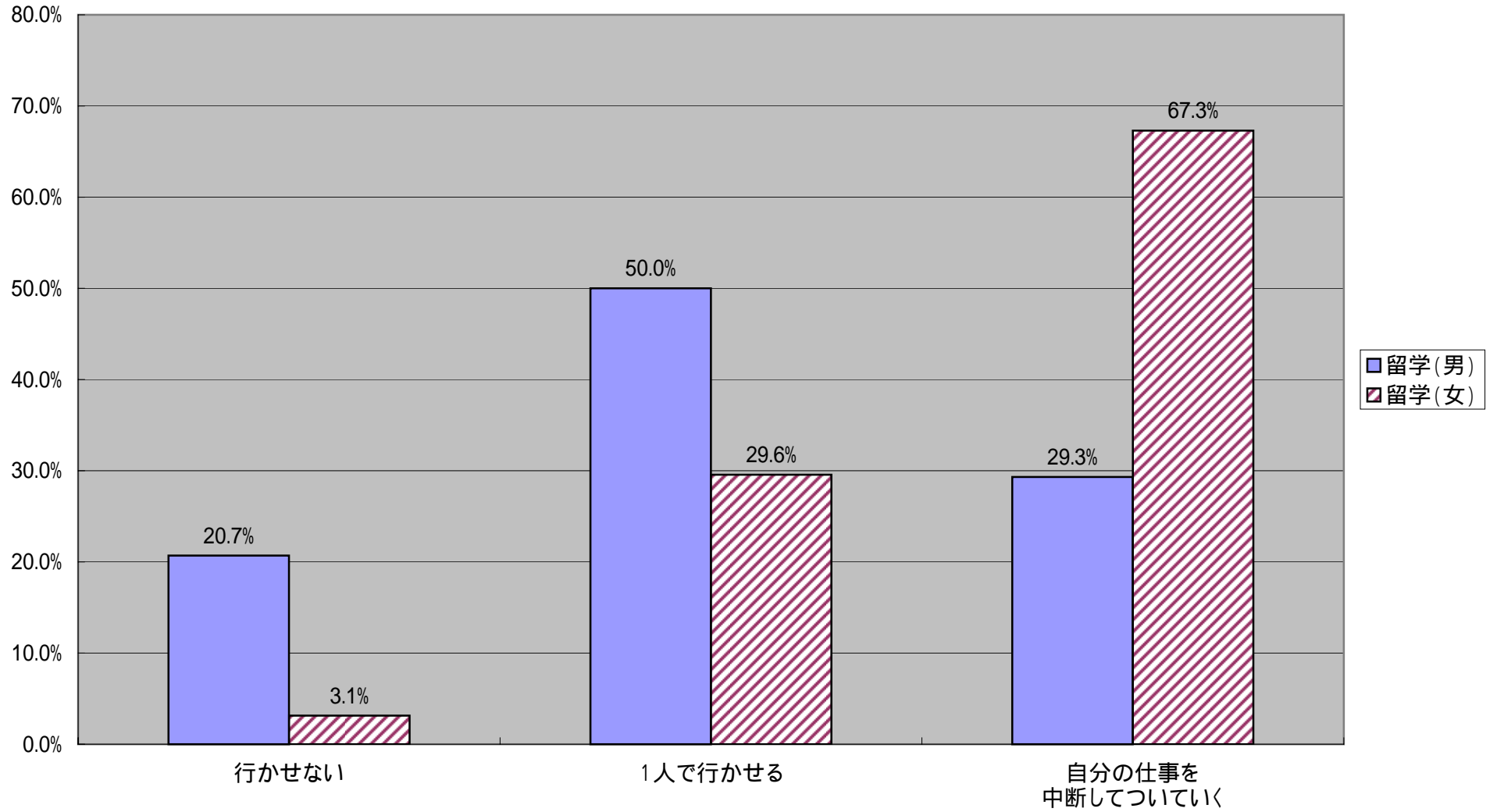


図20 女性医師が認識する女性同士の問題で困った経験

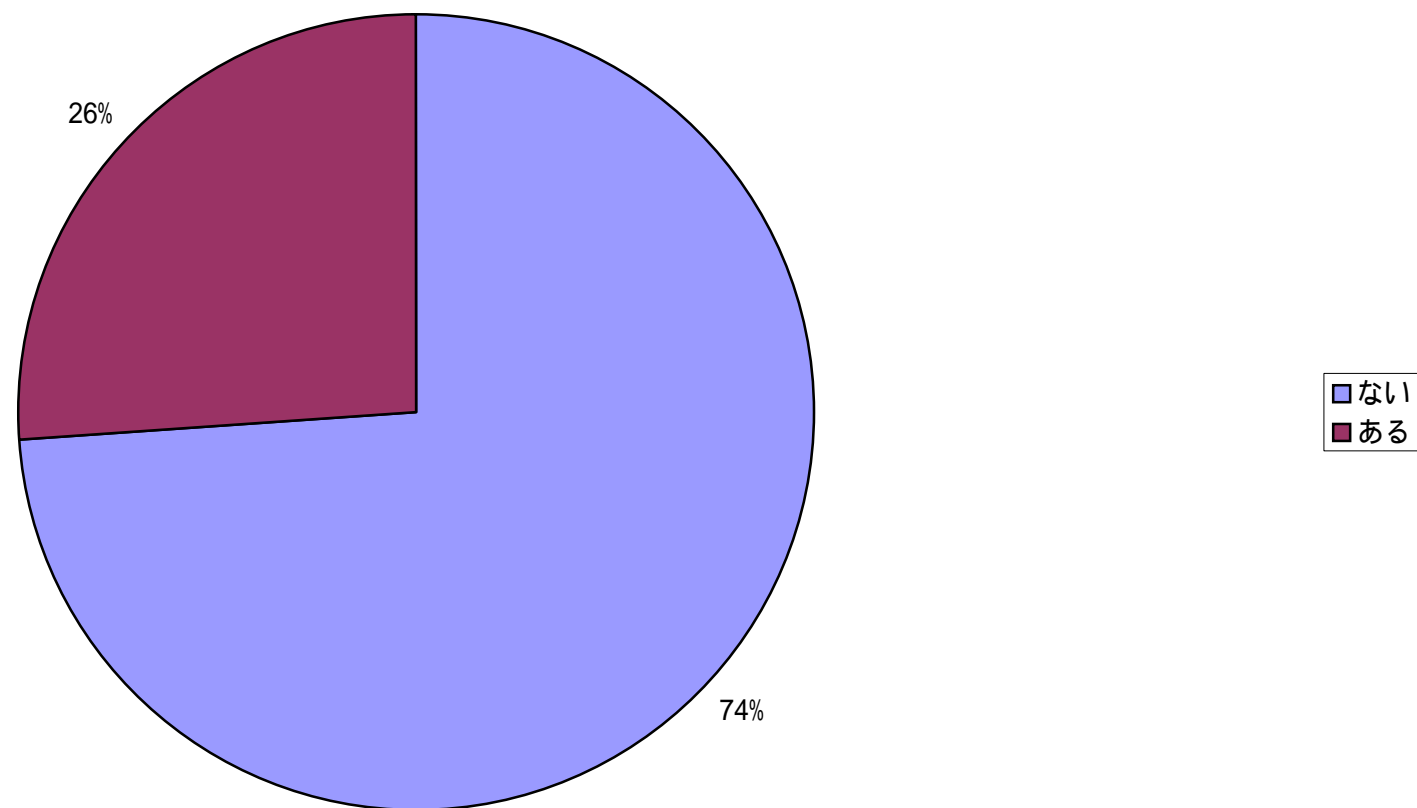


図21 女性医師の制度面への不満の有無

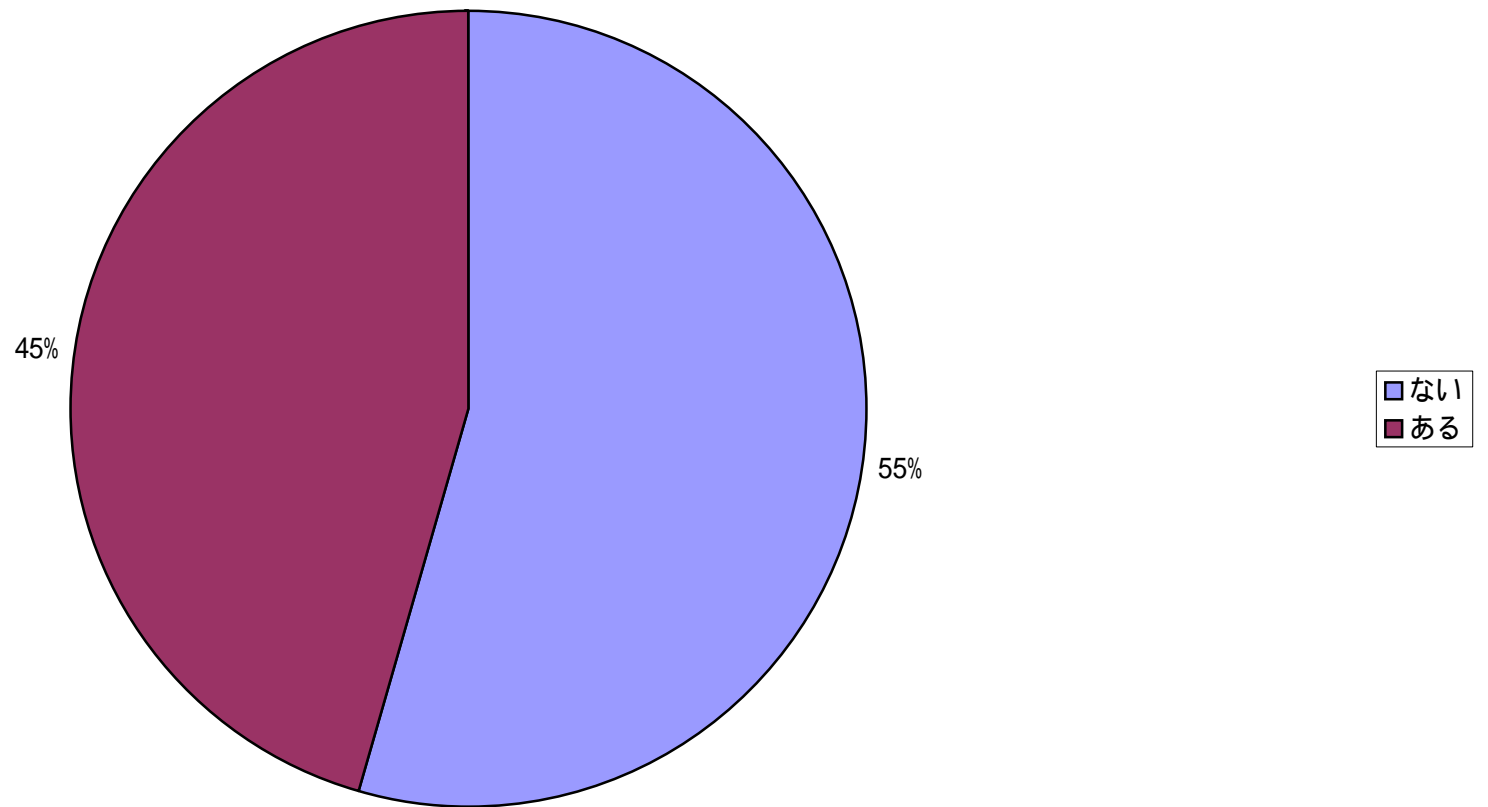


図22 女性医師の支援希望項目

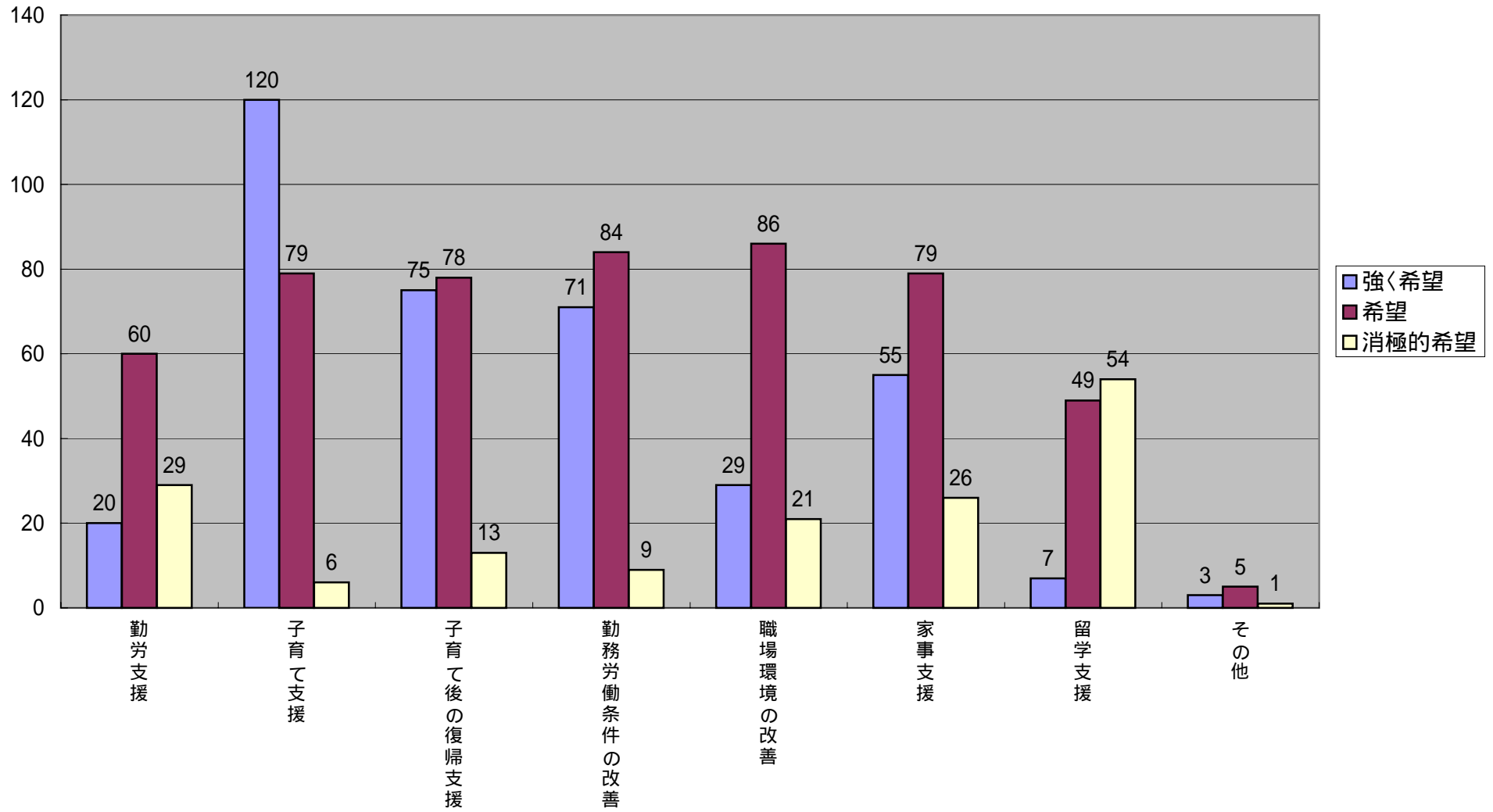


図23 女性医師の保育所利用状態

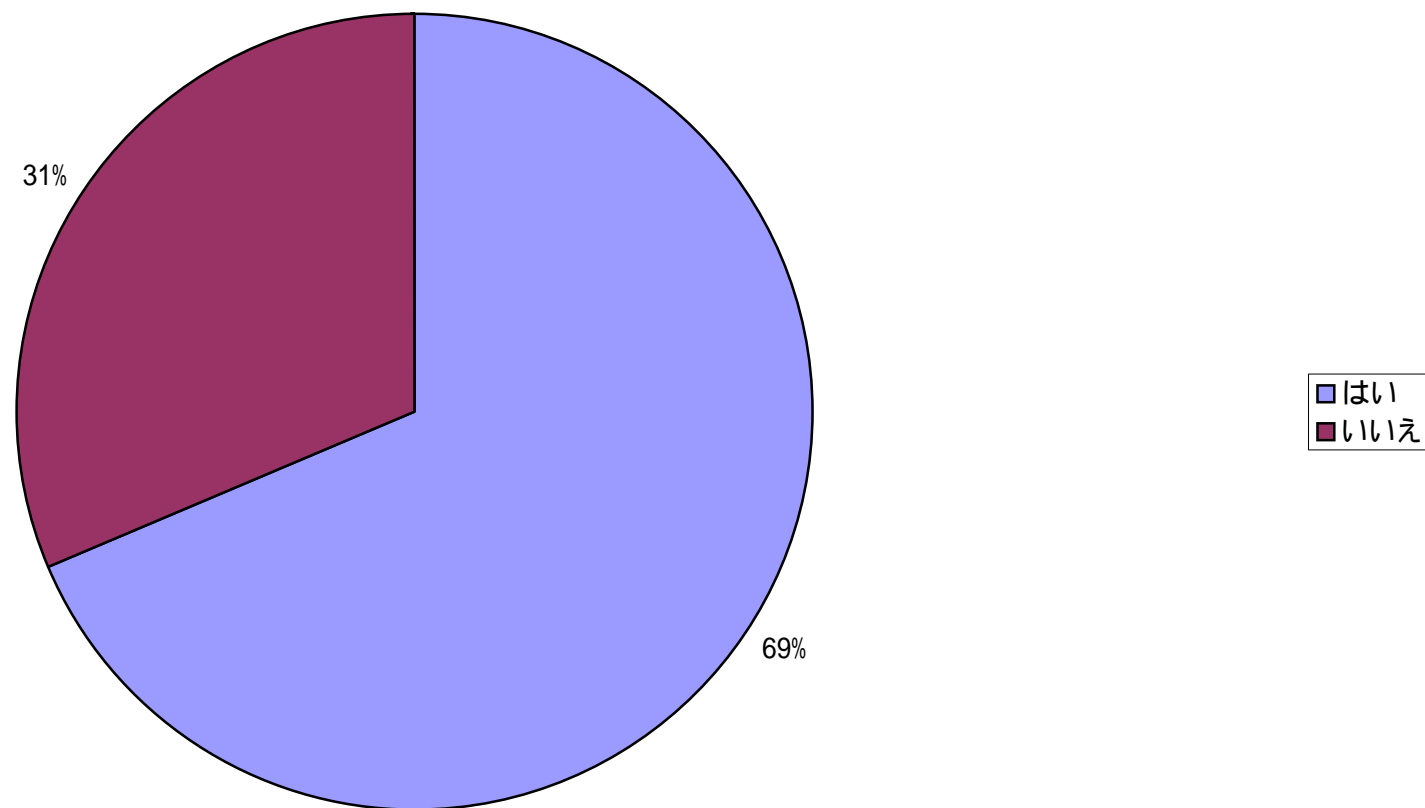




図24 女性医師の保育所利用希望

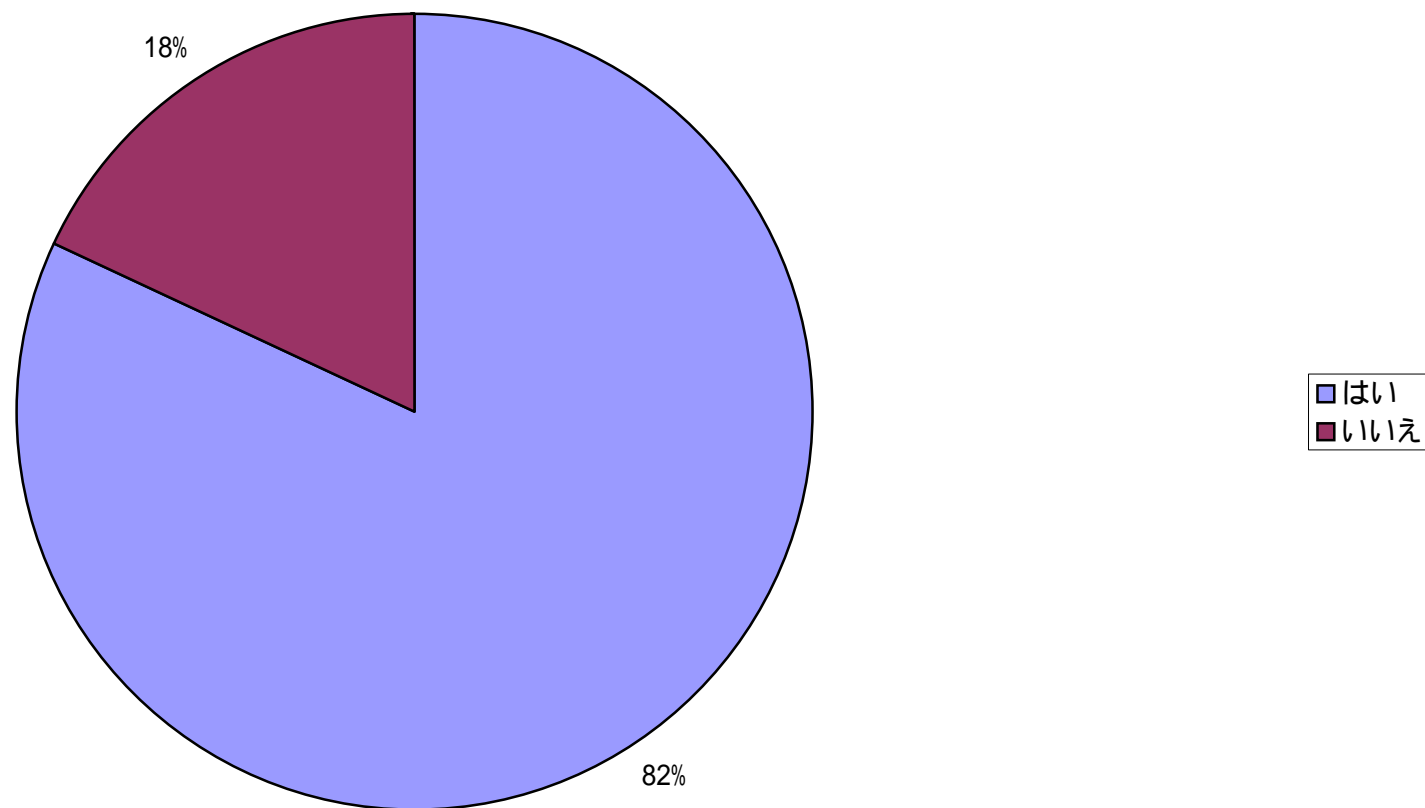


図25 女性医師の就労斡旋希望

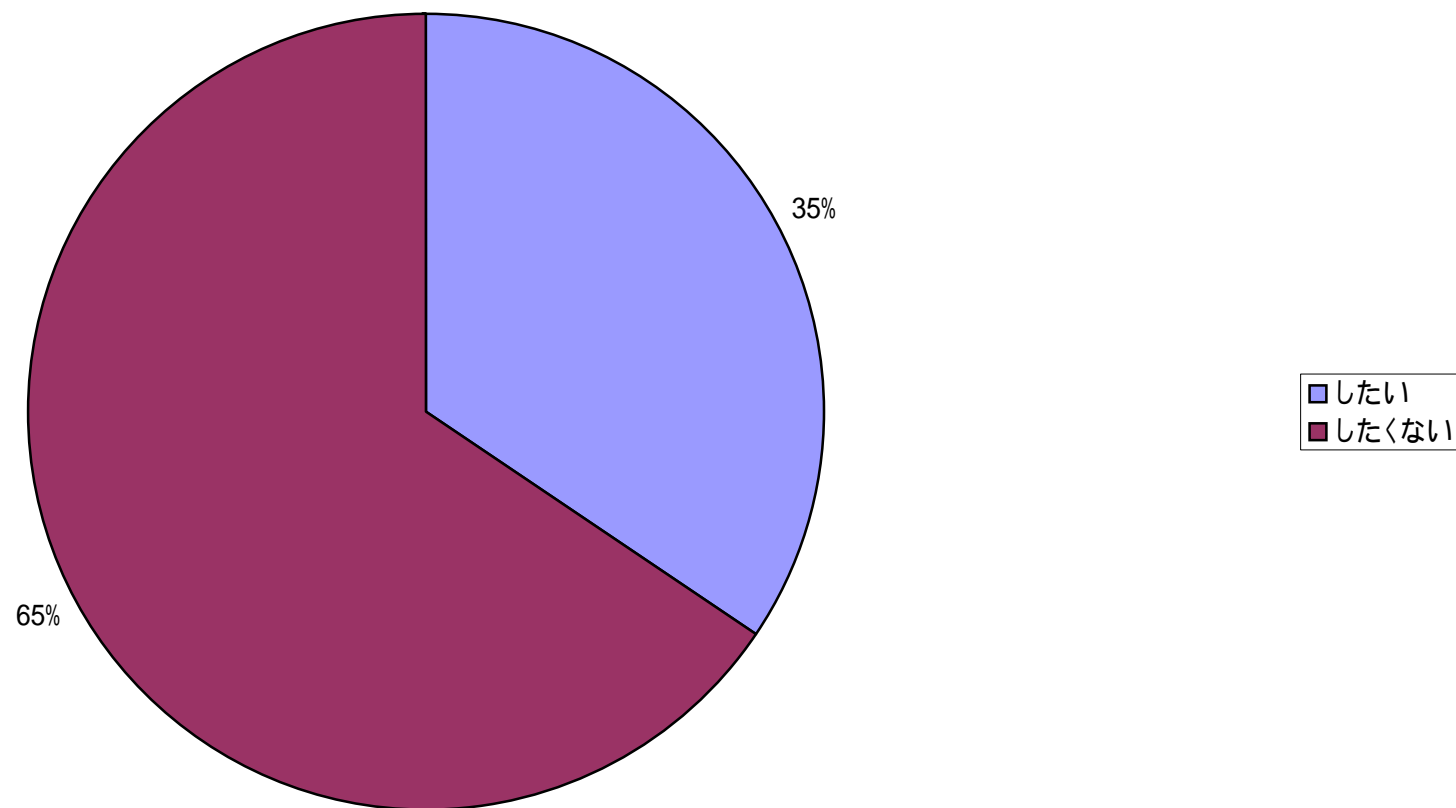


図2.6 男性医師の女性医師への希望

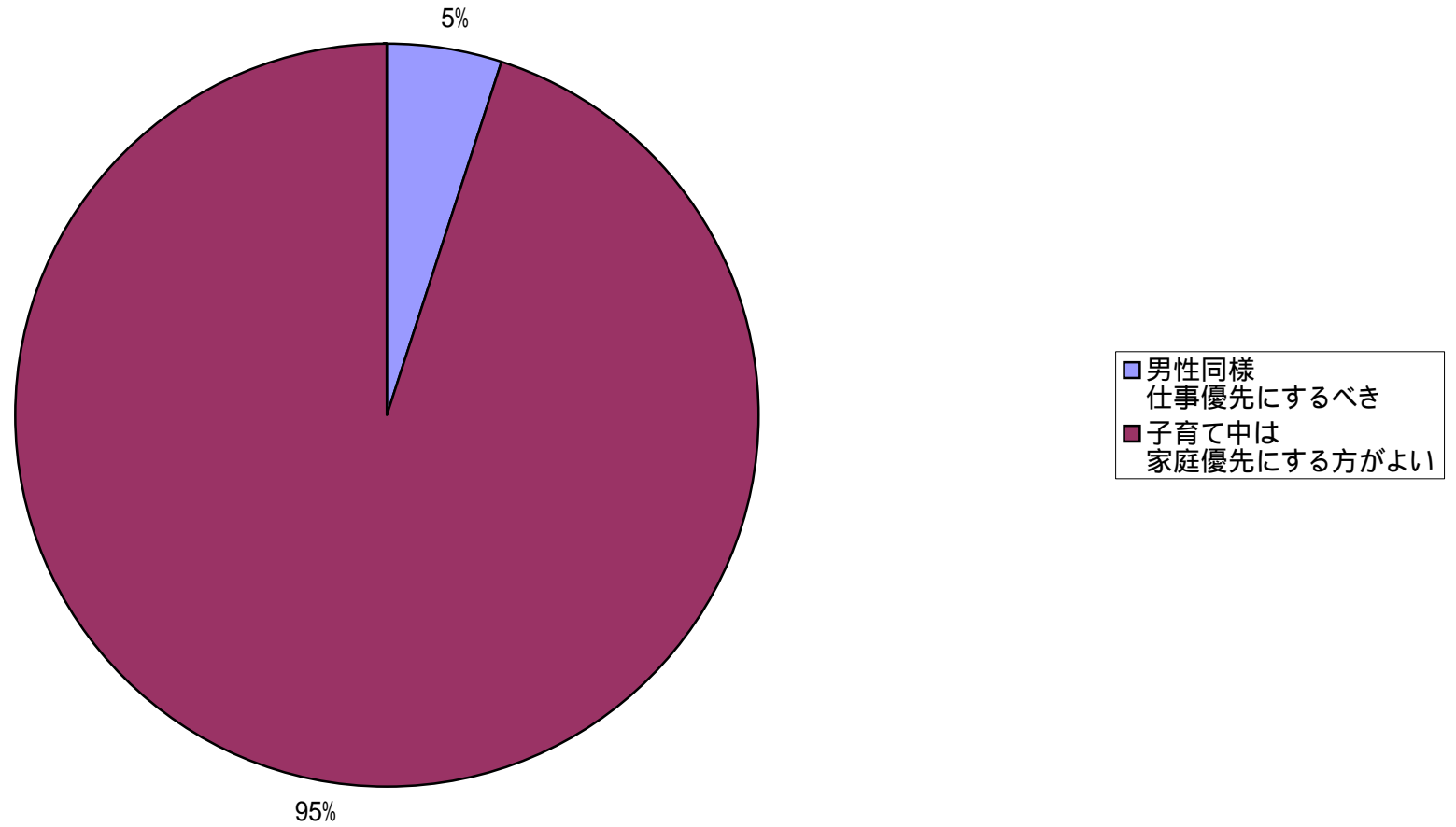


図27 女性医師の働きへの満足度

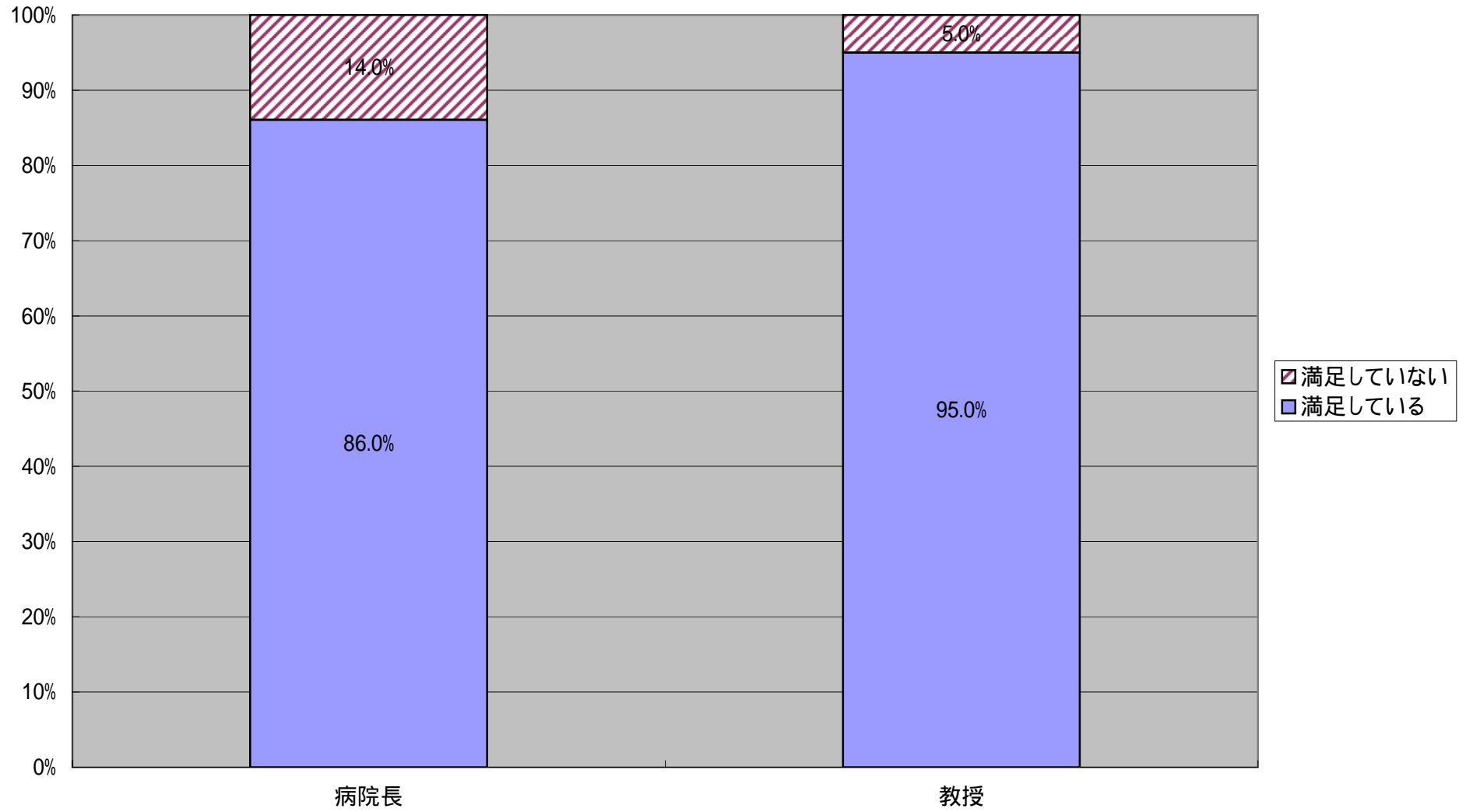


図28 女性医師の処遇困難経験

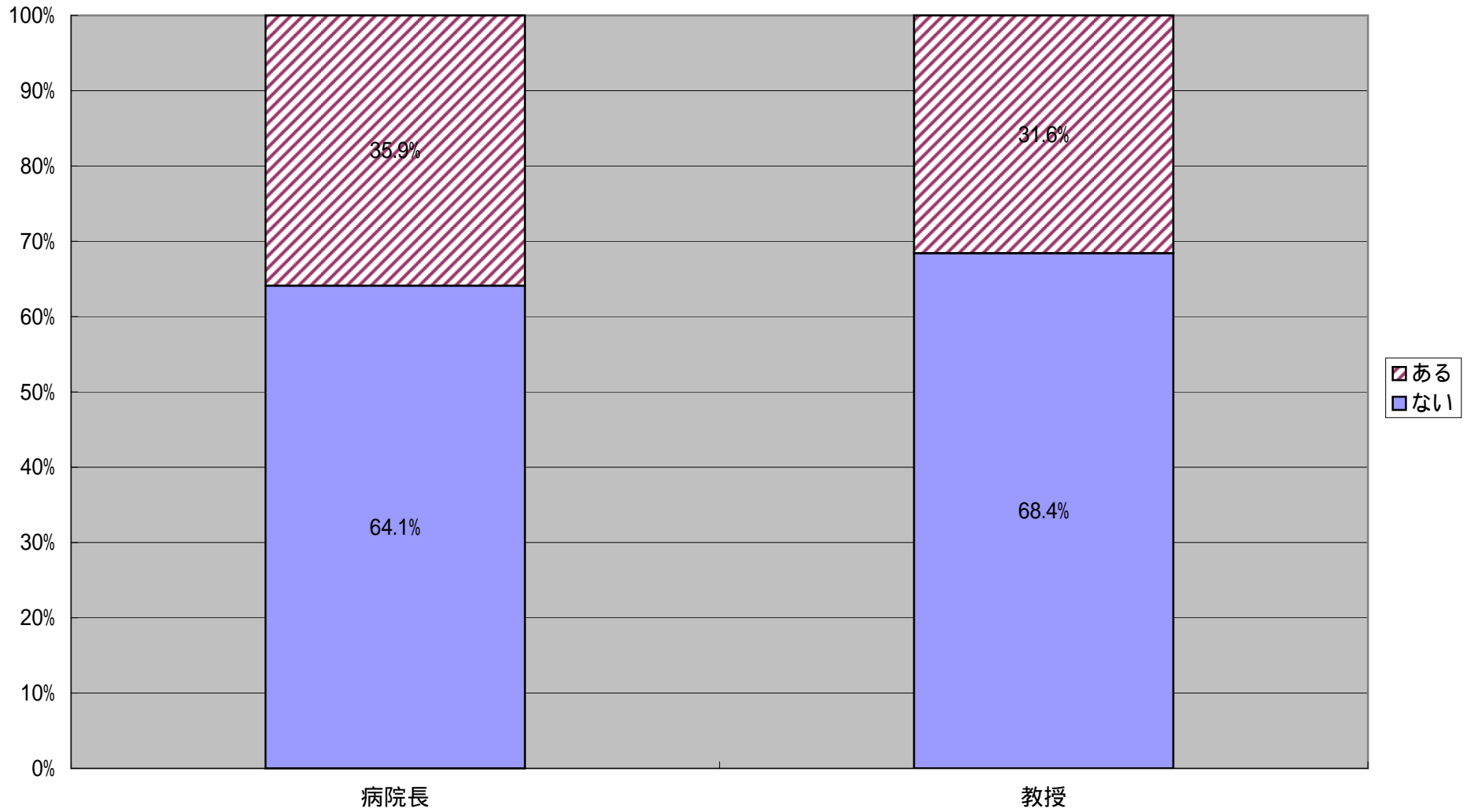


図29 退職・休業理由

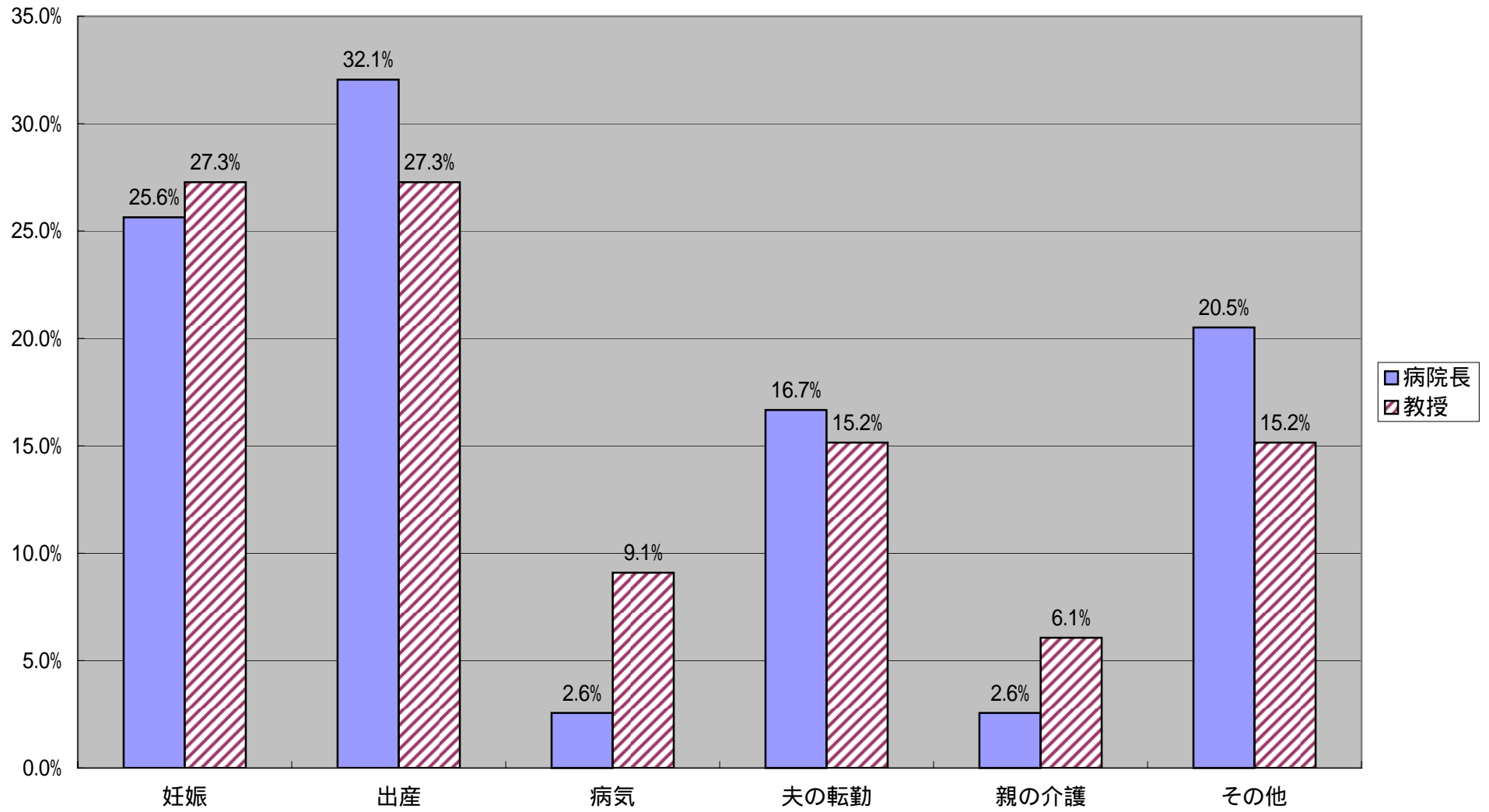


図30 女性医師確保上の必要事項(病院長:実数:重複回答)

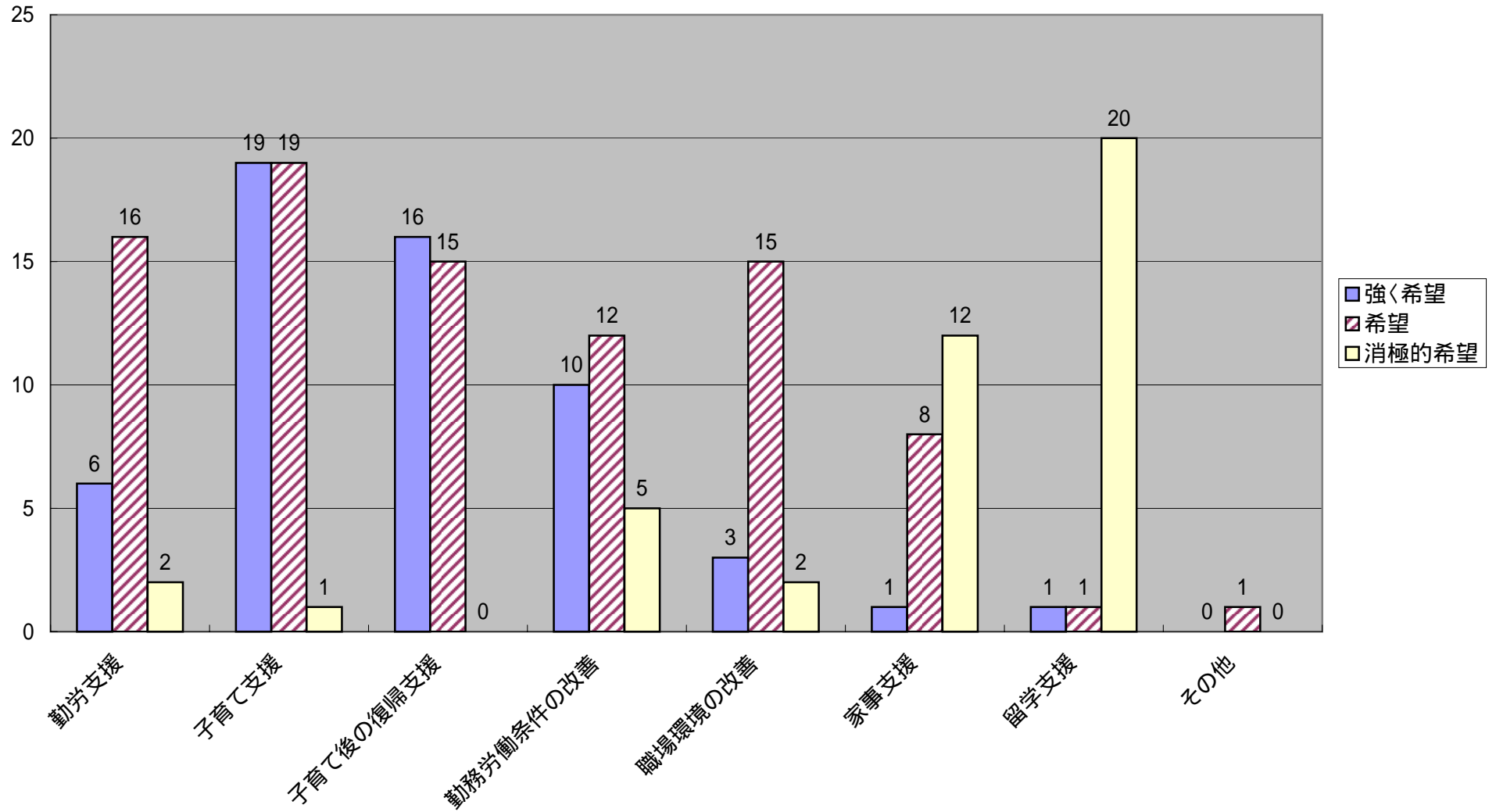


図3-1 女性医師確保策(教授:実数:重複回答)

